年中無休刊

# 京城日報

三日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税共
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金四拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

## ◎獨の對米通牒

獨逸は二月一日より無制限に潜航艇攻撃を行ふ可き旨米國政府に通牒せり（紐育電報）

### ▲米國の形勢最も重大

華盛頓來電＝大統領ウィルソン氏は國務卿ランシング氏と一時間に亘り協議する處ありたる後米國政府は獨逸の潜航艇戰に關し既に確然たる手段を立案したりと形勢最も重大と思惟せられ當局者は既に或行動を執りたりと仄聞せるが其行動如何なるものなるかは推測し難し（倫敦電報）

### ▲紐育港口封と獨逸船

紐育來電＝一月三十一日夕刻紐育港口は其筋の命に依り閉鎖され船舶の出港は禁止され水雷艇一隻港口に監視して入港の船舶は悉く檢閲等にて進行を停止せしめたるが港内の獨逸商船は港外に突出せんと準備しつゝありと信ぜらる（倫敦電報）

### ▲米紙戰爭を辭せずと論ず

紐育來電＝紐育ウォルド紙は獨逸の通牒を目して其の結果に於て米國に對する宣戰の布告なりとなし大統領ウィルソン氏は此の際伯林政府をして米國の目的及び方針を誤解云々の餘柄を設けしめざる樣速かに最後通牒の條項を實行せざる可らず而して米國は次で公海に於ける米國人の生命及び財産を保護するの手段を執らざる可らず若し之に依つて米獨開戰を意味せば吾人は戰爭を辭するものに非らずと論せり（倫敦電報）

### ▲英佛伊領海封鎖宣言

英國海軍が今回獨逸海岸の封鎖を爲したるに對し獨逸は今回英佛伊三箇國の領海封鎖を宣言し海岸二十哩以内に於ける船舶は其船籍の何國に屬するを問はず無警告を以て撃沈すべしと（紐育電報）

### ▲獨逸通牒の覺書

アムステルダム來電＝獨逸政府より發したる通牒には別に覺書を添附し英、佛兩海峽附近及地中海の或る一部に於て航行を禁じ米國よりファルマウス、フランシング及サウスウォールドに到る航路を除外し米國乘客汽船の一週一回ファルマウスに航海するを承諾し斯かる場合に於ける米國汽船の航海せざる可らざる航路を指定し其の檣頭には明白に船旗を掲揚し米國政府は斯る汽船に戰時禁制品を積載し居ざる旨保障せざる可らずと且又獨逸は和蘭に對しフランシングよりサウスウォールドに達する郵便旅客の運搬に關し特別條件を規定するを厭はざる旨を規定せり（倫敦電報）

## ◎日本警察撤廢要求

厦門問題に就き外交部秘書紙施本氏は我公使館に來り日本警察派出所撤廢要求を爲せり之に對し芳澤參事官は其要求を拒絶し且つ詳細に理由を說明せり（北京特電）

## ◎青木中將赴任期

支那政府軍事顧問青木宣純中將は來る十四五日頃朝鮮經由北京に赴任す可し（東京電報）

## ◎農省局長更迭

三日官報を以て農商務省内鑛山特許兩局長の更迭左の如く發表さる

任農商務省特許局長　農商務省鑛山局長　磯部正春
任農商務省鑛山局長　農商務省特許局長　崎川才四郎

## ◎總監元帥訪問

入京中の山縣政務總監は二日小田原に山縣元帥を訪問せり（東京電報）

## ◎演說會解散

東京市立候補者堺枯川氏の政見發表演說會趣意書は其筋より押收され三日夜の演說會も解散を命ぜらるゝ形勢なり（東京電報）

## ◎滿洲邦煙課税問題

滿洲に於ける我附屬地又は開埠地の日本煙草製造課税問題（營口に於ては東亞煙草會社工場、奉天に於ては三林公司の如き者）は數年來日支間の懸案として存する者なるが此案の起りは英米トラスト會社は以前より適當寧ろ過當の税金を支那政府に交附せるに獨り日本製品が此の課税を免るゝは太だ不公平に失し其結果は營業上の競爭不可能となれりとしトラスト會社より支那政府に抗議し終に該社は同問題の解決する迄税金を支那政府に交附する代りに之れを或る銀行に提供保管せしむる事とせり此れ遠く前清末の事なり爾來我官憲は支那側の交渉に應じ之と折衝するも其容る所とならず終に懸案の儘經過せし處奉天財政廳は財政窮迫の折柄トラスト會社より提供保管中の税金が今や巨額に達せるを以て之れを引出さんことを望むこと切なるも對日本の該交渉未解決なる限りは英國側の承諾を得難きを以て陰暦末奉天交渉員より其解決を奉天總領事館に迫り來りたるが該問題は永き懸案にて之れを何時迄も未解決に附するは日支經濟發展上の阻害ともなるべければ總領事館に於ては周密なる研究を遂げての上に近く根本的解決を圖る可しと（奉天）

## ◎總督陸氏招待

前駐日支那公使陸宗輿氏入京に就き長谷川總督は三日午後零時より同氏を官邸に招待午餐會を開けり總督府側よりは大屋、國分、宇佐美、小原の各長官、鈴木、荻田兩局長、武官副官秘書官等陪席し軍よりは秋山司令官、師團よりは立花中將、憲兵隊よりは古海司令官出席し又た支那側よりは黃副領事、陳、張兩隨員領事及び陸氏隨員參列したり

## ◎鮮銀陸氏招待

朝鮮銀行にては入京中の前駐日支那公使陸宗輿氏を三日夜花月に招待し歡迎宴を張る由なるが陪賓として總督府各部局長官、關係局長、課長、川上東拓理事も列席すべく銀行よりは三島理事中村阿部井内各局長大原秘書役等出席す

## ◎小宮氏出發

前李王職次官小宮三保松氏は愈々三日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發せり停車場には李王李太王御使李堈公李埈公御名代朝鮮貴族總督府各部長官所屬官署の長李王職々員婦人其他文武官民の見送り盛なりき

## ◎小原長官發期

一般産業狀況調査の爲め支那滿洲及び露領に出張を命ぜられたる小原農商工部長官は商工課小田屬を隨へ四日午前八時三十分南大門驛發南行汽車にて出發の事となれり因に門司よりの乘船は多分七日正午なる可し

## ◎朝鮮製糖會社許可

大日本製糖株式會社々長藤山雷太同社調査部長岡村左右松兩氏外二十餘名の發起に係る朝鮮製糖株式會社設立の件は豫て總督府に對し許可申請中なりしが二月一日附を以て許可の指令ありたり同社は農民に甜菜を栽培せしめ之れを買收して原料となし粗糖並に精糖を製造して以て朝鮮及び支那方面に販路を求めむとするものにして將來は更に精製糖事業及び糖蜜を原料として酒精の製造をも開始するに至るべく資本總額五百萬圓中差し向き百八十萬圓を以て急遽第一期事業を經營の豫定なるが其の年産額は粗精糖を合し約一千萬斤の見込なりといへば之を鮮内の砂糖消費年額最高二千萬斤、最近一兩年間の消費量一千五六百萬斤に對比するに同社の産額は第一期に於て優に其の大半を占むる譯合なり

## ◎荒井長官歸期

實行豫算編成に關し中央政府と交渉打合せの爲め引き續き滯京中なる荒井長官は二月下旬歸任す可き旨某所に通知ありたり

## ◎境氏出發

前警視境喜明氏は家族を同伴して愈三日午前八時三十分南大門驛發列車にて退京郷里長崎縣南高來郡神代村に向へり驛には多數の見送りありたり

## ◎澤田課長退院

東上中病氣の爲め京橋區南柳内科病院に入院療養中なりし澤田内務部第一課長は快癒一月三十一日退院したりと

## ◎漁區獲得手續

日露漁業協約に基き日本國臣民が特に指定せられたる漁區の貸下競賣に應せんとする場合如何なる手續を履行す可きやに對し大日本水産會より豫て浦鹽領事館に問ひ合はせ中の處此の程左の回答に接せる旨同館より總督府に向け通牒ありたり

本協約に依りて漁區の開設を希望する者は在ハバロフスク國有財産廳の毎年指定する期日（普通十一月初）までに自己の希望地區の位置を明記したる願書を同廳に提出す可く而して同廳は審査の上同年々末又は翌年初に前記出願漁區を取纏めて發表し一定の期日に於て（普通三月中）浦鹽にて競賣を行ふ競賣に加はらむとする者は入札に入札價格の半額に相當する金額を添へ之を競賣係に差出す可きことゝなり居れり

## ◎朝鮮簡易保險繰延

朝鮮簡易生命保險に關する經費は第三十八議會に追加豫算として提出し其の協贊を求め保險法の施行は制令にて發布大正六年十月頃より實施すべき當局の豫定なりし所議會解散となりし爲め遂に次期通常議會迄繰延べの止むを得ざるに至り從つて其の實施も大正七年十月頃となるべし

## ◎製煙會社計畫

大石勘吉其の他數氏の發起に係る東洋煙草株式會社創設の件に就きては本紙所報の如く總督府に對し既に設立許可の申請を爲せるが發起人代表者四名は三日總督府を訪問當局に對して企業の事由計畫等を陳述退出せり一行の言に依れば大邱、馬山、釜山等南鮮煙草主産地には製造業者少からざるが何れも小資本にして規模廣大ならざる爲め自由驥足を延ばす能はず加ふるに競爭劇甚の結果は相互間の困憊少からず此の情勢にして推移せば遂には共倒れの悲境に陷るべく斯くては煙草産業上由々敷き大事なれば同業者はかゝる蝸牛角上の小鬪を避け各自一致戮力下に一大製造煙草會社を設立して以て恰も我が鮮製造煙草が支那方面に急激の發展を告げむとする昨今の好機に乘じ同方面に向つて雄飛するに若かずと爲し扨てこそ今回の協定企業を見たるものにして許可の上は資本金百萬圓中差し當り二十五萬圓を以て直ちに事業を開始す可く總株は二萬株なるも其の四分三までは發起人に於て引き受くることゝなり居れりと

## ◎露國證劵賣切

朝鮮銀行本支店にて三十一日より賣出せる露國大藏省證券は二日午後既に賣切れの旨東京より來電あり直ちに各店の申込受附を締切りたり

## ◎松平子爵歸京期

東上中の東拓理事子爵松平直平氏は貴族院停會の爲め歸鮮期を早め三日東京發途中大阪に下車多分六日の夜着京すべしと

## ◎鮮銀株主總會

朝鮮銀行にては大正五年下半期決算案其他を附議する爲め株主總會を來る二十日東京銀行集會所に開會する旨三日各株主に通告したりと

## ＝元山＝

▲元山江陵間航路　目下元山田口回漕店にては其の取扱ひに係る清津大阪間航路第三舉平丸の外福重丸、武光丸、新庄丸を以て更らに最近元山江陵間の定期運航に努め一箇月五回の豫定にて右三艘を以て就航せしめ居れるが其の成績は見るべきものあり今後江原道各沿岸に於ける漁業の盛況に伴れ一層其効果を顯ずに至るや必せり▲元山大豆檢査高　一月二十日以來同日まで元山大豆檢査所に於て行はれたる大豆檢査高は一時出荷杜絶に陷りたる上旬頃に比し幾分出廻りの增加を示し總計三千五十四叺二百五十袋を算せり▲小學校新入學　來る四月の新學年に當り元山公立尋常高等小學校及び同尋常小學校の二校に入學すべき學齡兒童數は合計一百四十九名にして内尋常高等小學校に男兒六十六女兒六十六尋常小學校に男兒六十女兒十一名の豫定なりと▲元山最近市況　元山港各月中に於ける市況は綿布類は賣行極めて捗々しからず相場持合の姿にて米穀類も亦不景氣大豆は新年早々運賃値上げの實施と内地相場の沈靜に伴ひ注文手控への有樣となれる結果市況概して不振の裡に經過したるものゝ如し▲商議臨時會議　既報元山商業會議所に於て過般總會の席上一先づ審議を了したる來年度豫算案は尚ほ細部に對し研究を要すべき點ありとし更に三十一日午後一時より臨時評議員會を召集し議するところありたり▲商議書記長　豫て元山商業會議所囑託として勤務中なりし江原能太郎氏は今回書記長に昇進せり▲商議豫算內容　元山商業會議所大正六年度豫算案は過般來總會及び臨時評議員會に於て漸く全部の可決を見ると共に本月一日附元山府廳を經由し認可申請の手續きを了したるが其内容を見るに歲入に於ては經常部六千八百二十六圓三十七錢臨時部二千四百十四圓計九千二百四十圓三十七錢歲出に於ては經常部六千五百二十一圓四十七錢臨時部二千七百十八圓九十錢計九千二百四十圓三十七錢にして之れを前年度に比較すれば五百八十九圓四十九錢の減少を示す割合となり因に賦課金は府營業税年額一圓に對し四十八錢の割合を以て徵收さるゝ筈▲貨物ホーム擴張　元山驛に於ては昨年末來出荷未曾有の旺盛を告げ現在の設備にては到底敏活なる荷捌きを不可能なるが故に一時立消ねの狀態なりし貨物ホーム擴張計畫の復活を見るに至り目下頻りに設計中聞くところに依れば現在の貨物ホームの反對側に線路を增設し發送及び到著の區別を施す一方保税倉庫の位置の變更と擴張をなすべしと▲成南と接木桑苗　成南にては從來實生桑苗を配付し來れるが實生苗は極寒地或は速成桑園に適するも葉質收量共に優良なるは接木苗に如かざるを以て漸次蠶業の發展に伴れ接木苗の獎勵の必要を認め愈々本春より之れが實施に著手すべしといふ▲敎育懇話會　元山公立實科高等女學校にては三日午後一時より敎育懇話會を催せり

## ＝鎭川＝

▲畜産組合開設　忠北鎭川丹陽の三郡には從來畜産組合の設けなかりしかば過般來之が開設方申請中なりしが今回愈々指令に接したれば直に開設準備に著手することゝなりたり

## ＝大田＝

▲寒稽古納會　大田武德館にて勇氣凛々腕を振起したる寒稽古も本月四日午前十一時より同館に於て納會を舉行する由▲果樹成績　大田果樹栽培成績を聞くに柿四千百二十六本栗一萬六千五百五十八本にして柿收穫三萬九千百九十七圓栗收穫四千零六十五圓なり▲大田醬油組合　既報したる如く大田醬油釀造販賣組合にては一日午後七時より實業協會事務所にて組合成立後第一回の集合協議せる事項は營業上斯業者間の販賣價格統一して聖價を協定なし然て販路擴張に關し二三協議なせり因に現時製品原料容器等暴騰したるため近く不止得一升に付五錢の値上に至る浮說あり▲叺遲檢査　大田叺遲組合に於ては一日より檢査を實施せり當日檢查了したる數は六百枚なりし因に現在製品に對しては五日を以て全部檢查終了する由▲大田三區集會　大田第三區にては四日午後一時より富士屋に於て同區員懇親會開催なし同時に區費決算及び組長改選其他二三協議なす由

## ＝群山＝

▲客月檢米　群山米穀檢查所取扱に係る一月中米穀檢查數量は總數量八萬零三百四十八叺十二月中の檢米總數量十七萬三千百十五叺に比しては著しき減退なるも昨年一月中の檢米總量に比するに二萬七千七百四十一叺の增額を示し居れり▲取引所委員　群山米穀取引所創立委員の二三名は近く取引所創立認可の件に關し陳情委員として全羅北道廳に出頭の事は既報の如くなるが既に該取引所創立認可申請に關する一件書類は數日前全羅北道廳より總督府に申達せられたる由なれば更に陳情委員として大澤藤十郎、楠田義達、大平德三郎氏等三名を來る五日頃上京せしむる事に決定したりと▲協同運動　京城米豆株式取引所創立委員和田常市、山口太兵衞、中村再造、本藤次郎氏等四名の名を以て三十一日附當地米穀取引所創立委員に宛て取引所認可の目的を達する爲め協同一致の步調を執るべく希望交渉し來りたれば別項陳情委員上京の序を以て京城側委員等と會同協商する筈なるべしと

## ＝大邱＝

▲鑑定價格變更　大邱稅關出張所にては來る十六日より左の如く輸移出品鑑定價格を變更せり▲大豆（上）八圓一七（中）七、九三▲小豆（上）九、八五（中）九、一三▲大麥（上）五、一二（中）四、八〇▲小麥（上）八、一八（中）七、六八▲牛皮（百斤）三〇、〇〇▲大邱署犯罪件數　大正五年度に於ける大邱警察署管内犯罪件數は強窃盜詐欺其他二千三百二十件檢擧件數一千七百廿二件即決處分一千六百三十件是を大正四年度に比較せば強窃盜其他に於て五百十一檢擧件數に於いて三百六十一即決處分に於いて八百九十三の增加なりと▲杉村檢事正招宴　今回大邱地方法院檢事正に榮轉せし杉村逸樓氏は五日午後六時より官民有志を大和に招き晩餐を饗す

## ＝釜山＝

▲商議新年會　釜山商業會議所は二日午後六時より鳴戸に於て同所評議員の新年宴會を開催したるが出席者は來賓として府尹及び兩新聞社新京日の二支局長、評議員二十餘名にして午後十時散會したり▲女學校選拔生　朝鮮各高等女學校生徒中より四名を選拔し奈良高等女子師範學校へ入學せしむるに就き釜山高等女學校へ内一名推薦方を内務部長官より交渉し來りたるを以て同校にて詮衡の結果釜山高等女學校四年生大橋富美子を同學校家政科に入學せしむることに決定せりと

## 人事消息

▲清水莊一郎氏（會社員）　三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲福井武二郎氏（鑛業家）　三日朝退京
▲河村裕吉氏（龍山憲兵分隊長）　同上
▲水谷千萬吉氏（平壤醫藥所長）　二日朝退京
▲玉木寧次郎氏（大倉社員）　三日夜退京の筈
▲宮原工兵中佐　二日夜退京
▲般島宗親氏（步兵大尉）　同上
▲松尾三等主計正　一日朝釜山發馬山へ
▲富塚眞一郎氏（第七十九聯隊長）　二日釜山發大邱を經て三日大田に歸隊
▲鈴木伍五郎氏（釜山地方法院長）　三日發光州成安方面へ出張
▲前田慶南警務部長　三日朝釜山發赴任
▲高田類哉師（曹洞宗別院老師）　南鮮地方巡錫の爲め三日朝南大門發十日頃歸京の豫定
▲桑原八司氏（咸北道長官）　入院加療中二日午後退院巴城邸へ

送小宮刀水詩伯之歸東

高麗へつく江の春風に釣り在り　烏兎
いつて見ても富士は變らぬ春の雪　崖城
梅の月にそゝり立つ君を見出さん　鳥堂
床更めて咲き盛る可し冬牡丹　静軒
海道の驛々つゞく春の雪　目池
高麗の春家づとにして君や往く　大痴
いつまでも苑囿はあり嘆き　虎耳

京城在勤中は不一方御厚情を蒙り感佩仕候又歸東の際は鄭重なる別宴を賜はり猶出發の際御見立を辱ふし御芳誼奉鳴謝候書狀に代へ御禮如此に候　敬具

小宮三保松

内地から朝鮮へ、滿洲へ、支那へ、歐羅巴へ—歐羅巴から、支那から、滿洲から、朝鮮から、内地へ—何方から何方へ行くにしても下關から釜山、釜山から下關、朝鮮海峽百二十七浬の波の上に十時間は過さればならぬ、あの連絡船の船室に立ち迷ふスチームとペンキの匂を大陸と本土とを繋ぐ新日本の大動脈の匂と嗅いで釜山の埠頭に下り立つた程の人は此の大動脈の搏動の永へに健かに活潑にそして安全ならんことを希ふたであらふ。さるにても、霧、風、雪、浪、冬將軍の暴るゝまゝに此頃頻々として續出したる連絡船の故障は我等をして此大動脈に就いて暫らく考へさせるものではあるまいか

現在六隻の連絡船がその輸送能力を一齊に活動せしむれば其一航海に二千四百廿一人の乘客と二千四百噸の貨物を運搬し得ると。大正四年には乘降客總計十九萬七千七人(前回乘船客九八七三四名とありたるは九六五三四名の誤り降船客一〇〇四六八名とあるは一〇〇四七三名の誤り)大正五年には乘降客總計二十萬五百七十一名(前回乘船客一〇七一三二名とあるは九八二五二名、降船客一一二三九名とあるは一〇二三一九名の誤)で此の增加が三千五百六十四名、大正四年の貨物輸移出入額廿一萬五千五百九十五噸(前回廿萬五千五百九十六噸とありしは誤り)大正五年の貨物輸移出入額二十五萬九千二百八十五噸で此增加四萬三千六百九十噸であること、及びその貨客の大正五年に於ける繁閑の數字を列擧したがそれから歸納し得可き結論は姑く讀者の研究に俟つこととして轉じて連絡船の船長諸氏の關釜連絡に關する意見を聞いて見やう

## ▲狹隘を感じ來れる釜山港
### 連絡船高麗丸船長五十嵐千之介氏談

連絡船長として實務に當る自分としては繫船の位置、繫船上の設備等に就き多少の希望と改善を要すべき抱負は素より少なくないが之れに適應せしむるには第一に經濟上の見地より今濫りに語ることが出來まいと思ふ、顧つて關釜連絡船の初航當時の狀態を

◆追懷すれば 實際隔世の感に堪へない山陽鐵道會社經營の際には釜山、下の關兩地共未だ棧橋の設備がなく連絡船が港内隨所に錨を投じ小蒸汽船若くは艀船を以て乘客貨物を昇降せしめ風雨の際の如きは頗る困難を感じたが其後釜山には現在の舊棧橋架設を見たる爲め多少困難の度を減じたので乘降客は大に滿足したが其後又た現在の第一棧橋竣工し連絡船も從來の

◆一千噸級に 三倍する高麗丸、新羅丸の如き三千噸級の航行を爲すに至つたが最初は繫船に就き潮流の關係其他に因りて云ふに堪へざる勞苦を費したが漸次研究の進むに從ひ曳船も自づと調子に合し今日に至りては支障なく繫船を爲すに至つた其經過を想到すれば此れ以上に設備改善を唱ふる如きは自己としては望蜀の嫌なしとせぬ然しながら其後日韓の併合せられし結果鮮地の

◆開發著しき ものあつて自然相互の交通愈々頻繁となり時運の進展上將來豫期すべからざるものあるを思へば之に伴ふ連絡上の設備改善に對して大に講究を要するのは勿論であるが一言にして云へば時運の發展の結果釜山港今日の設備は港内をして狹隘ならしめたとも云よことが出來る今ま猶ほ築造中なる第二棧橋の如きも所期の効果を收め得るか何うか殊に一萬噸の汽船を繫船せしむる設計であると聞くが自分は果して斯かる

◆大型汽船を 尋常に繫船せしむるを得べきや多少の疑を持つてゐるものでマネーシャア若くは水先案内に非凡の手腕家ありて操縱せばイザ知らず自分は頗る此點に興味を以て眺めてゐる連絡船の型を大きくすると云々といふ說の如きは餘程研究の餘地あるものと思ふ

## ●大御影照り輝きて
### 全鮮各地の皇后陛下御眞影拜戴

◆—平壤— 平安南道に御下賜遊されたる國母陛下御眞影は總督府總務課齋藤屬捧持二月二日午後三時平壤驛に著せり此れより先き驛頭には工藤平南長官、張參與官、篠田一部長以下道官吏及憲兵隊よりは願田副官、久松分隊長、平壤府よりは本田府尹及び學校組合會議員府協議會員上野高女校長新聞記者等多數御奉迎申上げたるが御眞影は著車と共に齋藤屬捧持諸員最敬禮の裡に一先づ平壤驛貴賓室に安置し奉り更に人力車にて平壤署員御警衞申上げ道廳正廳に安置し奉れり(平壤支局電)

◆—公州— 二日午前十一時三十分急行列車にて忠淸南北兩道廳及び其管内小學校へ御下賜さるべき皇后陛下御眞影は新貝總督府屬捧持し御著其より先き忠淸南道廳よりは藤谷第一部長神田警務部長並びに中村曹長等何れも鳥致院に御迎へ申上げ其他鳥致院公立尋常高等小學校鳥致院公立普通學校職員並びに生徒両漸岐郡守以下職員藤田鳥致院憲兵分遣所長以下柴田郵便所長矢野法院出張所書記澤熊鳥致院地方金融組合理事中島鳥致院學校組合管理者兼鳥致院協議會長岩田鳥致院在鄕軍人分會長鳥致院學校組合評議員面長里長鳥致院有志家及び新聞記者等無慮數百名謹しんで奉迎し豫て準備しある自動車に出迎官恭しく捧乘し正午徐々公州に向け出發せり(公州發)

◆—鳥致院— 忠淸南道に下賜せられたるは道廳の外に公州鳥致院大田天安江景論山の六小學校にして三日午前十時道廳に於て分載式を擧行の上各地より御出迎の爲登廳せる管理者及び小學校長は捧持歸校の上更に其々拜戴式を擧行の筈なり鳥致院小學校にては前日より中島管理者池端小學校長は公州に出張三日分載式濟み次第午前十時臨時自動車にて捧持し正午歸鳥直ちに拜賀式を行へり(鳥致院發)

◆—大田— 今回大田小學校に對し下賜せられたる皇后陛下の御眞影は榎本小學校長捧持の下に三日午後零時二十五分當驛御到著直ちに小學校に於て奉戴式擧行の後ち同校に安置せられたり禮裝したる市民の奉迎者は驛前に奉迎の上校庭に參集して靜肅に奉拜せり(大田支局發)

◆—元山— 今回咸鏡南北兩道各管下に下賜せられたる皇后陛下御眞影は同兩道參與官之れを捧持して二日午後四時四十五分著列車にて元山に到著せり(元山發)

◆—淸州— 今回忠淸北道に下賜せられたる皇后陛下御眞影は二月二日午後一時到著したれば在淸州各官廳職員學校職員生徒全部在鄕軍人淸州分會員各學校生徒一同愛國婦人會員赤十字社員等數百名は道廳正門前に御出迎へ御到著を待ち奉りたり軈て定刻先頭に國旗を交叉したる自動車は御眞影を奉持したる總督府田中試補を中央に左右には鳥致院迄御出迎申上げたる柳忠北道長官督出嘗祀を隨へて虔し前方には沿道警戒の警務部野中副官を乘せ轍も輕う諸員の堵列奉迎の中を辷るが如く道廳玄關に安著直ちに會議室内に設けられたる奉安所に安置し奉り小憩後直ちに奉拜式を行ひ午後二時過ぎ無事式を終へたり(淸州發)

◆—大邱— 今回朝鮮各道小學校及び府、道に下賜されたる皇后陛下御眞影中、大邱府及び慶北各小學校に下賜さる可きものは田中總督府試補捧持し三日午後四時五分の南急行にて來邱、大邱驛には各官廳員、職員生徒の奉迎あり直ちに慶北道廳會議室に於て御眞影拜授式を擧行せしが先づ御眞影は驛より順路十二間道路を通じ道廳會議室に安置し奉り鈴木消長官是を拜受し次で是を竹崎府尹に拜授し府尹は是を小學校長に拜授し嚴肅裡に式を了り(大邱支局發)

## ●橫濱倉庫爆發
### 損害九十萬圓

二日午後三時二十分橫濱海岸通橫濱商品倉庫會社倉庫内の火藥爆發の爲め附近家屋及び橫濱地方裁判所に多大の被害ありたる事は既報の通りなるが此の混雜に取紛れ囚徒の脱走せるものあり橫濱倉庫の爆發の損害高は九十萬圓に達する見込なりと(東京電報)

## ●雪中行軍隊消息絶ゆ

松江步兵第六十三聯隊留守隊長永田中佐以下百五十三名は一月二十九日雪中行軍を爲せしが昨今の大雪にて一日午前迄何等の消息無く隊にては安否を氣遣ひ居れり(一日電)

## ●曉明の篝火、積雪に映えて
### 京城中學の健兒碧蹄舘に夜行軍

京城中學の健兒四百餘名は三日午後零時三十分校庭を發足し碧蹄舘に夜行軍を擧行したり一年生を先頭に立て二三の順序に

▲行軍隊形 を作り五年生及び教員養成所生徒等最後部隊となり卅名の教員之れを指揮し烈寒身に沁み徹る眞夜中に行進喇叭の譜も勇ましく步武肅々と義州通を北に進みたり十二日の月は隈なく照りて左右の山々峰々の雪に輝き渡り一層の寒さを覺ゆしめたり

▲五里餘の 道程を踏破し午前五時四十分碧蹄舘に到著すれば同地の憲兵隊にては豫ねて中學校より依頼を受け居りし事とて四十餘箇所に燒々たる篝火を焚き同地の居住内地人八名は嚴寒の深更を物ともせず全部集り來りて一行を迎へたり一同は焚火を圍みながら休憩し午前七時携帶の行厨を開きて朝飯を濟す此の時氣溫零下十六度餘寒威一行を壓すほど〳〵明けの朝の野山を見渡しながら岡村大尉より小早川隆景の

▲血戰の地 形に就て一場の講話あり七時四十分碧蹄舘を發し弘濟院にて晝食を喫し午後一時三十分歸校したるが一行の元氣旺盛一人の落伍者さへもなかりき

## ●三將軍に祝電
### 九日は仁川記念日

來る九日は仁川記念日なるを以て前例に依り八日夜祝關棧橋附近及び東公園に於て篝火を焚き九日午前十時より大神宮にて奉告祭を執行し楠野仁川府尹より瓜生木越村上三將軍に對し左の祝電を發する由

今日記念日に當り遙かに閣下の健康を祝す

## ●深川に虎疫發生

二日東京深川區内に二名の眞正虎列拉患者發生し附近の交通を遮斷すると共に大消毒施行中なり(東京電報)

## ●又も仁川の火事

二日午後七時三十分仁川外里濱田方より出火し全燒五戶に及びたる事は既報の通りなるが三日午前三時頃又復同里神田德植方の炬燵より失火し半燒の後三時五十分鎭火したるが損害は四百五十圓位なりと(仁川)

## ●校舍倒壞して生徒九十名下敷となる

但馬國牧之崎郡八代小學校は二日午後積雪六尺の爲め突然倒壞し恰も授業中の生徒九十名下敷となり慘狀眼も當てられず生死不明多數にして當局は之れが救助に大混雜を極めつつあり(東京電報)

福豆頂戴 =京城神社にて=

## ●お客と藝妓の化けくらべ
### 賑はしい年越しの夜の花柳界

百鬼夜行とは年越しの夜の花柳の巷を形容した言葉ではないかと思はれるほどに此の里の奇怪な變裝は近頃警察の規則が面倒なので餘り突飛な事はしないがそれでも彼等社會には見免がすことの出來ない年中行事の一つとあつて京城なども

◆年々盛んに なるとも衰へようとはしない、今年の節分は三日とある、私かに各方面の趣向を探つて見ると例の丸福舍連中は富美廼家、辰中、花房、その他の常連が寄り合つて相談の末厚化粧に生地を塗り潰して若い藝者に化け名々の子供までを藝者に仕立て

◆同勢揃つて 最負筋を廻つて步かうといふ事になつて淸華亭では四十人と五十人の宴會があつてその四十人の方ではお客一同が變裝してくるといふので藝者の方でも默つて居られず一同頗る奇拔な變裝をしてお座敷に現はれ變裝競べをしやうといふ寸法、花月では座敷の都合で變裝はせず、此の他各

◆置屋の連中 は三日の朝の内からそれ〳〵苦心を重ねて何か目論んである、八重垣姬が酒屋のおそのと手を曳き合つたり梅川が信夫と一緒に步いて來たりするのは大分あるであらう

### 灯ともし頃

▲新券志津家の百吉が旭町の二丁目に家を持つて隣りの家の電話を拜借して居たまではよかつたが▲昨今の寒さでその度每に隣の家へ行くのが面倒臭くなつたので壁に穴を開けてそこから首を出して電話をかけることにした▲斯ういふ珍無類の發明は特許局でも未だ登錄にならないだらうと誰かに敎はつた文句をそのまゝ納まり返つて悦に入つてゐると▲或日電話係が檢査に來て之を發見し大騷ぎとなり電話はお取り上げになり罰金百二十圓その上拘留何日とかに處すと怖い顏で威嚇され▲『電話はそんな難かしいものですか』と蒼くなつて震ひ上りそれからは電話口に呼ばれても成る可く遠くの方から少ざな聲で話をしてゐる

## ●舌一枚で百圓

京畿水原郡水原面新豐里居住相運又は在學事閔泳伯(二〇)は賭博に耽りて其の資金に窮したるより昨年舊十一月九日同面南水里米穀商朴景根方に至り同人に對し目下格安の籾千圓額の買收契約成立し居るも手附金なき爲め五十圓だけ借用したしと申込みて該金を騙取し尚同樣手段にて同里居住の精米業靑木爲一より金五十圓を詐取したること發覺し閔泳伯は一月十八日水原警察署に引致され取調べの上檢事局へ送られたり

◉京城寶生會 四日午後一時より吉町有明樓に於て謠曲會開催の由番組次の如し
▲邯鄲(平松氏、大黑住氏、子香村氏、高田氏)▲熊(石塚氏、磐松氏)▲大原御幸(佐野氏、大藤田氏、法小倉氏、局原氏、內高阪氏、遠藤氏)▲小鍛冶(林田氏、大足立氏、宇都宮氏)▲番外▲寶盛(岡中氏、山崎氏、山淵氏)

◉創作京城支社 牛島文藝と絶緣したる社務は二〇八本町菊月君は今回牧水の創作支社を引受け由にて入社希望者の爲めに紹介の勞を取るべしと

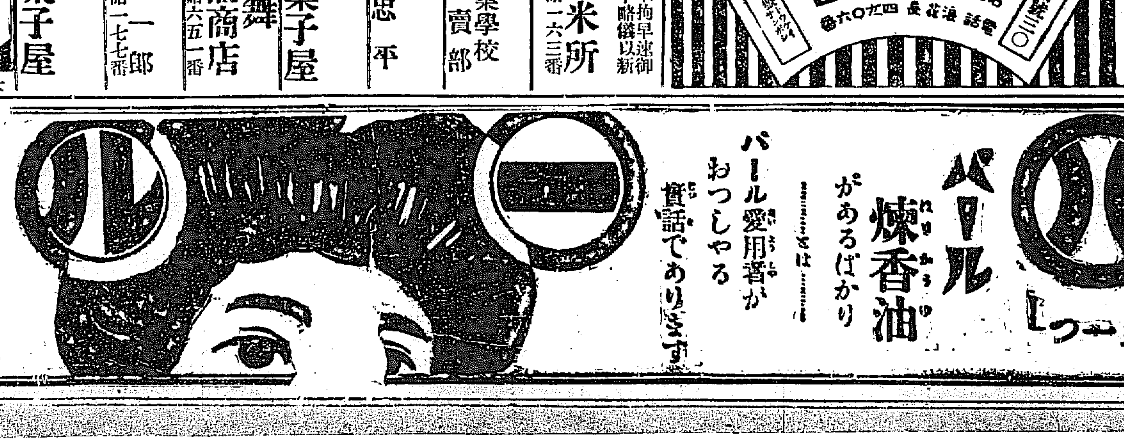

世界無比カラ
新案特許和田式軍人カラ
詰襟のダブルカラ
本品の特色
第一 從前のカラーの樣に釦がサハラズ肌ざハリよし
第二 高低は自由に成ります
第三 此カラーは一個使用の後ヨゴレたれば裏返へして附らるべし
第四 表裏二回使用が出來て殊に衛生上大適當のカラで有ります
是非現品御一覽の上御使用を乞ふ
大阪市南區四ツ橋東角 製造元 和田本店 電話南武參六六番
全國到る所有名なる雜貨店に販賣す

恩給 年金 即時立替 京城府黃金町三ノ三四四 朝筑社 (永樂町通花本洋服店裏)

公債株式現物專業 東京市日本橋區南茅場町八番地 合名會社 三星商會 電話浪花長四〇六番 振替貯金二二〇 受信略號サンボシ

謹近火御見舞 仁川公立商業學校 實習販賣部
謹近火御見舞 仁川外里 米穀商 森忠平
謹近火御見舞 仁川外里 製菓並に御掛物一切商 松浦菓子屋
謹近火御見舞 仁川外里 日鮮人向雜貨商 玉植商店 電話六五一番
謹近火御舞見 仁川寺町 頴京 修一郎 電話一七七番
謹近火御見舞 仁川外里 製菓商 村上菓子屋
近火の節は夜間にも不拘早速御見舞被下難有奉存候乍略儀以新聞紙上御禮申上候 仁川外里 門畑精米所 電話一六三番

強胃消化錠 マーゲン 著しく胃を爽快にする 島田藥學博士鑑查 大阪七本町五丁目田畑保藥房 特約店 京城南大門通二丁目 新井藥房


髮をしなやかに丈長がく 美しく房々と 漆のやうに黑くするは 廣い世界に「たゞ一つ」……とは…… パール煉香油があるばかり パール愛用者がおつしやる實話であります
本舖 東京 平尾銑也商店 關西代理店 大阪 平尾贊平支店

# 朝鮮の消防はこんなに進歩した
## ▽火事を防いだ汲水軍の團隊
‖京畿道警務部消防主任 小熊警部の談‖

▲朝鮮の宮殿 宮衙其他大なる建物の構内には蓮池と稱して周圍を石にて築いた方形の池がある之れは惡水排除の爲めだとも云ひ又防火用に設けた貯水池だとも云ふが後者の方が適當らしく現に隆熙二年（明治四十一年）韓國度支部建築所の火災に今の常備消防隊が此の池水に依つて大なる便宜を得た昌德宮構内には昔のまゝの此の蓮池が殘り居り又京畿道廳構内にも存してあるが道廳は之れに加工し庭池として風致を添へて居る朝鮮の宮邊での

▲防火計畫は 實際に行はれなかつた然らば人民はどうして火事を防いだかと云ふに市街地には汲水軍と云ふ水汲人夫の團體があつて各操業先の繩張を持ち其の繩張内の火災には水を汲んで供給せねばならぬと云ふ自然の制度が成つて居た そこで火災には其の附近は汲水軍より水を得て桶の樣なもので之を火中に投げ掛け中には鎌を振いて汲水軍の水を獨占する者もあつたと云ふ事である 然るに此の時代捕盜廳に捕盜軍官（刑事巡査）と云ふものがあつて火災場に臨み良民を放火嫌疑者として逮捕し賄賂の多寡に依つて放免を與ふる慣習があつたので折角消防して居る人民も捕盜軍官の影を見ると火事場を捨て逃げて仕舞つたと云ふ事である又朝鮮人には火災の際婦人の袒（裾袢）を竿頭に掛して之を屋上に振り廻すと延燒して來ぬと云ふ迷信があるそうだが之は全然迷信では無くて婦が火を消す自然の理の幾部を實施したものであると思ふ日本人及支那人の消防も最初は自國

▲居留民保護 のために設けたのだが遂には國別に構はず火災あれば出動することゝなつた若し此の時朝鮮側に消防設備があつたならば外國人が自分の領土に消防警察を振り廻す事に付て異議を申出たに違ひないと思ふ當時は消防器具は腕用ポンプに過ぎなかつたが釜山丈けは蒸汽ポンプ二臺備へてあつた昔のポンプが今本町警察署に遺つて居るが横側に日本公使館と大字の彫刻があつて當時を物語つて居る朝鮮人の消防組織を創めたのは前述べた通り（光武十一年明治四十年）五宮消防隊の編成である當時宮中扈衛隊より六十人を選拔して消防手とし器具は數年來宮中に格納してあつた內地製

▲腕用ポンプ を修理して之に充てた當時は修理する工場も職工も無いので主任警部自ら或る鍛冶工場に赴いて修理した次で制服も出來訓練も一と通り施したが宮中に詰り居ては實際の訓練が出來ないので主任警部が引率して市中の火災に出動する事となつた最初に市内の消防に從事したのは明治四十二年南山町筋の火災の時で此の時始めて朝鮮人の常備消防隊なるものがあることを認められたのである 其の後事務簡潔廢せられ宮中消防隊が警視廳の所管となつてからは市内の火災豫防が本務となり其の活動するに從ひ勢ひ義勇消防組と衝突せざるを得なくなつた最初は殆んど出動毎に衝突し常備隊の指揮官は身邊を護衛せられつゝ指揮した事もあつたが其の後常備隊は總監部の直屬となり京城消防組も總監部の所管となつて一致して事に當る樣になつてからは京城消防組には總監部直轄の常備隊を設け又總監部常備隊も新に內地人消防手を加へ又內鮮人消防手を增員し團隊組織とし訓練及び器具の改良を計りて

▲順次に發展 し京畿道警務部所管の現今では京城府内の消防は常備消防手詰所七箇所人員百十三名義勇消防組五組三百三十八名にして消火機械は蒸汽ポンプ發動機ポンプ各一臺水管馬車二臺機械馬車一臺機械梯子二臺其の他水管車若干を備ふるに至つた消防の成績は警務總監部開始當時の火災保險料率千圓に付二十三圓なりしもの漸次遞下して現今は六圓の低率を示す程の好成績を表すに至つた併し京城市内は日に增し大建築物增加し內地式脆弱家屋の集團地も亦增加する傾向があるから現今の消防成績を維持せしむるには出動輕便にして到著迅速に且つ使用簡單なる消火機械を更に速に備へ及

▲水道以外の 水利をも準備せなければならぬのであるから甚だ苦心である仁川は明治三十九年以來數年間大火災頻出し一時は寺院にも火災かと驚き火災保險會社は仁川の保險は引受けぬとまで云つた程であつたが明治四十二年警察署長に就任第一著に消防の改良を企圖し予も其の計畫に參加を命ぜられて先づ蒸汽ポンプを購入し次で防火池を設け遂に常備隊を置く事となつて今日では市民は殆んど火災を忘れ火災保險料率も京城と同率になつたが常備隊の人員が甚だ少ないから未だ安心とは云はれぬ此の外平壤、釜山、木浦等には蒸汽ポンプの設備があるが釜山は消防から見ると危險家屋の集團地であるから今一段消防設備を進歩せしむる必要がある（をはり）

# 東西 無邪氣合せ

## 桃葉 中券 千代本

桃葉が去年の暮にお披露目をしたときに註文した紋付が間に合はず、紋付を着なければお座敷へ行かれないと言つて駄々を捏ねて阿母さんのお千代女將を困らせたがそれでも素直な質だけにお座敷へ出た、今年十一になるけれども七八ツの時分から山村のお師匠さんのところへ毎日通つてゐるので、大抵の事は出來る、年の割に物覺えもいゝ方だが人に揶はれると直ぐそれに罹つてプリ〳〵憤る事は珍らしくない、それが面白いと言つては皆がいろんな冗戯を言つてはだますとそれを本當にして乘るところは何んといつてもまだ可愛い

## 櫻丸 釜山 守谷樓

お祭りの夜連絡船のさくら丸が滿船飾をしたときのやうに、始終美しいのは「櫻丸」のお座敷へ出てきちんと坐つた姿である櫻丸は素人のお轉婆娘のやうに活潑なところがお客に喜ばれてゐるだけ踊も男前の奥三郎や忍ぶ戀路などが好きだが芝居の車曳の櫻丸のやうに荒なしいところは無い、櫻丸は守谷の湍子の妹分で取つて十四歲、四年前の十歲の暮に披露目をしたのである、久留米の生れで芝居、活動寫眞などが好き

## ●東大門小學校と通學區域

京城學校組合にて工事中なる京城公立東大門尋常小學校は來る四月より開校の筈なるが其通學區域は黃金町四丁目及び新町等より東部一帶なり

## ●海老名牧師來鮮

東京本鄉敎會牧師海老名彈正氏は朝鮮及び滿洲に於ける傳道狀況視察のため來る三四日頃來鮮の筈なるが同行者は神戶敎會の米澤牧師にして主として滿洲地方の視察に時を費す由なるも何れ京城にても同師の講演を請ふに至るべしと

## ●通俗講演會の盛況

京城の酒商及び食料品組合にては二日午後七時より京城商業會議所に於て通俗講演會を開き本宿善隣校長よりの講演あり頗る盛會にて十一時散會したり

## 讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▽下句付「勘忍の」

○勘忍の袋の緒なば子がつなぎ（一等） 京城 初芽
▲……袋破れて浪人し 京城 白樂天
▲……袋のやぶれ縫び 京城 二葉
▲……ならぬが義士に骨折らせ 京城 三尺子
▲……出來ない腹に九寸五分 龍岩浦 大石劍牛
▲……袋女房に縫ばせ 龍岩浦 朝雄
▲……ならぬと乙な見ぬ切り 平壤 笑山

# 商況

## 東京公債直取引（電特）

| | |
|---|---|
| 三日川米値 | |
| 五分特別 | 八二、三〇〇 |
| 五分甲號 | 八三、三〇〇 |
| 四分 | 九四、八〇〇 |
| 五分 | |

## 深川在米特電

| | |
|---|---|
| 三日現在高 | |
| 鮮米 | 一七八、八五九 |
| 內地米 | 一八三、五七七 |

## 東京期米特電

| | 前場 | 後場 |
|---|---|---|
| 三日 寄付 | 一六、〇一 | — |
| 高値 | 一六、五八 | — |
| 安値 | 一五、八三 | — |
| 止め | 一五、九九 | — |

## 大阪株式

| 類 | 拂込額 | 一日前場 | 一日後場 |
|---|---|---|---|
| 宇治川水 | [illegible] | | — |
| 神戶電鐵 | [illegible] | | — |
| 京阪電鐵 | [illegible] | | — |
| 和歌山電 | [illegible] | | — |
| 合同紡績 | [illegible] | [illegible] | — |
| 鐘淵紡績 | [illegible] | [illegible] | — |
| 同上新株 | [illegible] | [illegible] | — |
| 東洋精糖 | [illegible] | [illegible] | — |
| 大阪商船 | [illegible] | [illegible] | — |
| 日本郵船 | [illegible] | [illegible] | — |
| 大阪米穀 | [illegible] | [illegible] | — |
| 東京新株 | [illegible] | [illegible] | — |
| 大阪新株 | [illegible] | [illegible] | — |

## 大阪三品特電

| 二日前場 | | |
|---|---|---|
| 一月限 | 一八〇、八〇〇 | 一八〇、九〇〇 |
| 二月限 | 一八〇、〇〇〇 | 一八〇、三〇〇 |
| 三月限 | 一七九、〇〇〇 | 一七八、九〇〇 |
| 四月限 | 一七七、九〇〇 | 一七七、七〇〇 |
| 五月限 | 一七六、五〇〇 | 一七六、五〇〇 |
| 六月限 | 一七六、八〇〇 | 一七六、七〇〇 |

## 大阪期米特電

| 三日前場 | | |
|---|---|---|
| 高限寄付 | 一四、八九 | — |
| 中限寄付 | 一四、七一 | — |
| 先限寄付 | 一五、八一 | — |
| | め止 | |

## 下關期米特電

| 三日前場 | 當限 | 中限 | 先限 |
|---|---|---|---|
| 寄付 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 高値 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 安値 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 止め | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

## 雜報

●滿洲大豆の影響 大連先物船乘四圓四十二錢見當

銀價高につれ滿洲大豆又騰貴し最近の入電は大連先物船乘四圓四十二錢見當なる旨報ずるに到れるが之れ昨年十二月初の高値に伯仲するものにして內外市場に與ふる影響軟からざるべく永く睡眠狀態にある朝鮮大豆もこれより活氣づかんかと觀察されつゝあるも當業者は意外に冷靜にて從來の經過と朝鮮輸送狀態の不備に依て除ろに成行を觀望せるが如し[illegible]到底永續 すべきものにあらず[illegible]

●朝鮮に買ひ進むと思ず[illegible]

以上の移出行ひ得ざる[illegible]

出廻り初めたる事に浦鹽大豆の[illegible]

●著炭數と炭價 [illegible]

## 京城正米

過日來入荷少きため正米界も[illegible]

## 南大門の廻穀

## 仁川現物市場

| | |
|---|---|
| 仁川玄米 二三五匁 | 天安籾 一八一匁 |
| 仁川玄米 二三五匁 | 鳥山白米 四九匁 |
| 鐵原籾 二二七匁 | 全義籾 一八一匁 |
| 平康小麥 二二七匁 | 天安籾 一八一匁 |

△籾入津なし
△正米入津なし
氣配は期米安に連れ安人氣を唱へ居れり

▲大豆入津なし

## 釜山穀物市場 二日

▲正米（前場）賣り物は依然少なからず本日の各地定期市場は買收額の發表を控へ[illegible]

▲大豆 賣り物は小口乍ら兆々ありたるも買氣なき事なるも相場は依然[illegible]

## ●染料弗々動く

本品は舊正月以來大に警戒を加へら[illegible]

## まるにち 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話 四二八三番 二八二番

## ●石炭の指名入札

## ●今揚陸中廻送次第 市中に賣放

## ●木炭稍々落付 十六圓五十錢

## 小賣又一圓十錢乃至一圓十五錢を普通相場

## 生魚市場

總田來高 玄米九六九俵 小麥八〇俵
釜山より鯖鯛卸の類絡着より雜魚類出より鯨の廻着あり鯛は値引き立ちため不入鯛は撥し京城魚市場延値左の如し
タイ二五、サワラ二〇、メジロ一四、ホラ一三、ヒラメ一六、ハゲ一八、サバ五、メバル一四、グジラ一五

## 仁川期米

▲三日前場 兵庫前寄十五圓六十三錢 大阪天候晴 前寄當十四圓八十九錢と昨止より四十一錢安 中十五圓七十一錢と四十七錢安 先十五圓八十一錢と五十三錢の大下放れ 入電二節九十錢丁度と移り 大阪四節九十六錢五節九十九

## 市場零聞

▲依然下濾る 天候晴

▲大阪の跳返

▲期米の眼先觀

▲買個の買收に漸次接近

▲買收と人氣

▲當中激戰

▲大阪は久々的下放れ

▲買收額發表 五千八百三十萬石

## 田中金兵衛 仁川

▲㊉大に賣る
▲①大に賣る
▲圣能く賣る
▲㊐能く賣る
▲圣大に買ふ
▲㊉能く買ふ 前場同店より買ひたる玉數四千餘石に上りたりとの事
▲圣能く買ふ 前場同店より買ひたる玉數五千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の賣りありたるも注目を惹いたり
▲㊦の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事
▲㋷の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事
▲㊉の商內 前場同店より賣りたる玉數二千餘石に上りたりとの事
▲今の商內 前場同店より賣りたる玉數千餘石に上りたりとの事
▲全の商內 前場同店より賣りたる玉數千餘石に上りたりとの事

## 大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電三〇九 長九二

## 仁川米豆取引所 三日の四月限

| | |
|---|---|
| 寄付 | 十二圓七十九錢 |
| 止め | 十二圓八十三錢 |
| 高値 | 十二圓八十三錢 |
| 安値 | 十二圓七十八錢 |
| 出來高 | 四萬三千五百石 |

| 平均値段 | |
|---|---|
| 一節 | 十二圓八十一錢 |
| 二節 | 十二圓八十三錢 |
| 三節 | 十二圓八十一錢 |
| 四節 | 十二圓八十二錢 |
| 五節 | 十二圓八十二錢 |

賣買取組高

| | | 前日と比較 |
|---|---|---|
| 二月限 | 五萬五千四百石 | |
| 三月限 | 六萬五千石 | |
| 四月限 | 一萬四千六百五十石 | |
| 三日後場 | | |
| 三十一 | 一二、九〇 | 一二、六安 |
| | 一三、〇五 | 一二、二安 |
| | 一二、九五 | 一二、六安 |


## 〔演藝案內〕

### 御成座 御成町 電二九一
中村梅昇一行 二月四日藝題 前切 苅萱同心筑紫礫 心中天網島（治兵衛 梅昇）…

### 大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 二月二日より特別大寫眞提供 探偵大活劇 怪婦赤髮の女 …

### 浪花館 明治町 電話二六〇
〇大阪親友派浪界之別格 竹川馬生一行再び出演續物 二月一日より六日間日延なし △義烈百傑 △百文中の一 △忠臣義士 △水府公 毎夜五時半開演仕可候

### 黃金館 早川直營 電二六三七
天然色活動寫眞株式會社鮮一手代理店 二月一日より提供の三大寫眞 …

### 壽座 京城壽町 電話五七八番
二月四日藝題 大阪若手大歌舞伎 中村新駒、市川鶴之助、市川瓢藏一行 前切 菅原傳習 肥後の駒下駄 寺子屋の場 …

## 月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす 京城黃金町三丁目 山田しづゑ

## ◉金のたまる法!! 日本に二つとないこんな爲めになる講義錄が出ました會期僅に二ヶ月半 最新家庭經濟講義錄 此際の申込者に限り大割引全學期壹圓廿錢及大特典あり見本往復はがきにて請求あれ 東京下谷西町帝國家政通信學校

## 外務員募集
時局に適應したる空前の企にして何人にも頗る容易に出來得る職務なり各府縣郡に數名を限り招聘す月收百圓以上確實希望者は郵券五錢送れ 京都市烏丸頭駐在所前 致富同盟會

## 運の善くなる話 ▼面白い程運が向て來く
人の運と云へば直に賣卜者の專有物のやうな感じが起るが人には運不運は大切なものは無い一生心配苦勞や病氣災難に苦しむのも貧苦や失戀に惱むのも悉く運命の然らしむる所である、然るに運は學問や智惠では決して得られぬ、さればとておみくじや占ひに迷ふて金錢を浪費するのは愚の至りである固より運命なるものは天から降つて來るものでは無い乃で本會の講義錄を讀めば如何に悲觀煩悶の不運者でも忽ち雄大の活路と妙味を得て其日から自分々々の因緣因果や將來のこと迄判然と分り今迄の境遇や行動を顧みて身慄ひするやうになる實に天下に二つと無い傑書である殊に今年は千載一遇とも云ふべき好都合の年廻りである。會費三ヶ月三十五錢 六ヶ月修了 東京芝區宇田川町十（電話芝五六四番）日本天眞學會 此新聞名を書てハガキで申込ば見本迄呈す見本だけ讀でも大利益である

## 製造元とのやくそくで 砂糖、麥粉、蓖、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他ハ日鮮人向雜貨食料品 割の安い品そろいの 大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話 鎭南浦二一番 京城一二八番

## 朝鮮總督府 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著 朝鮮語會話 定價金八拾錢 郵稅六錢

受驗者必携の資料 ◎袖珍總クロース四百頁頗美本江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尙要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解說者たり是非一本を備へられよ
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
大取次 大阪屋號 日韓書房 巖松堂 各地支局書肆

## 純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから……御値がお安いです 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

## 內科 小兒科 外科 花柳病 入院隨意 酒井醫院 京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡（朝鮮銀行前停留所より一分間） 電話二五四一番

## 比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四〇 四五 九四 番 振替京城五七番

## 眼科專門 入院隨意 江頭眼科醫院 京城明治町東拓橫（電話二〇四四番） 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

# 明君道中記

第四十九席 田邊南龍口演

板倉周防守重宗行列美々しく制止聲をかけて恰當來かゝつたのが大津の宿でございます、スルと向ふから牛飼が牛を牽て參りましたが是を見て傍の樹木に牛を繋ぎ己れは大地へ平伏して居りました、其前の處へ周防守の輿物がかゝつて來た時草を喰べて居た牛が頭を上げ角を立てモーと啼いた、輿物の内にて重宗是を見て『重』コリヤ誰かある彼の牛を斬れ

仰せられた時に御駕の側に居りました村雨八右衛門が『ハッ』と其處へ驅けて參り突如拔打にして牛の首を其處へ斬落した、防周守是を見て大に喜び『重』一天萬乘の君を守護為す征夷大將軍の名代所司代たる防周守が通行路次人でさへ禮をいたすに畜生の分際として角を立て吠付くといふは免し難し、依て斬捨たぞ、此の防周に對して不禮を爲す奴は人畜に限らず斬捨るによつて左樣心得よ』と大聲に呼はつた、是を見て居た人々膽を冷し○『此度の所司代は豪い短氣なお方じや不禮をすると斬捨るとは恐しいことじや』と皆々驚きましたが、何故恁ういふことをしたと云ふのに、昔は京都の公卿方が威張つて關東役人を苛責たものである

此の大津は京都の入口にして此處であつたことは直に京都へ知れる、強いといふ處を聞かして置うと云ふので恁ういふことをしたものと見ゑます、偖二條へお入りになつて周防守が翌日參内をいたしますと、公卿方が彼を苛責てやらうと相談をして居りました、其の理由といふのは土產物が少い本來なら利き目〳〵に對して金子を贈るのであるが、周防守は決して其麽ことは爲ない、お土產として扇子一對或は半紙の二帖位づゝ贈つたのであるから公卿方の怒つたのは無理もない、今周防守が參内した時に一人の公卿衆が進出で手に櫻の枝を持つて突き附け 公『アイヤ周防殿、其許の目には是は何と見ゆるぞ』周防守莞爾笑つて

昔の梅にもこりず櫻哉

と詠みました其の公卿は赤面して引退つてしまひました、是は前九年後三年の戰に奥州の阿部宗任が生擒となり京地へ引れ階下に引出された時一人の公卿が手に梅の折枝を持つて其處へ進み 公『宗任其方の目には何と見ゆる』此時宗任莞爾笑ひ、

我が國の梅の花とは見つれども大宮人は何と云ふらん、

と云つたので其公卿が赤面をしたといふ話しがある、奥州の荒夷であるから歌道不案内と思ひましたが宗任は名代の歌人でございます、それになぞらへて周防守重宗が恁う申したのでございます、金錢を費さずして所司代役を全ふしたのは此のお方ばかりでありす』此の周防守が此度の將軍御上洛に就て萬事の係りを仰付られましたのでありますが、前に申上げました通り此度の御上洛は後水尾院陛下の御機嫌伺として參内をいたすのでありますが、主上格別の思召を以て先例になきことであるが二條へ行幸あらせられると云ふのでございますから關東役人もそれ〳〵注意いたし粗忽無之用意をいたしまする一條より九條までの間は御供いたした諸侯方が相固め、又板倉の家人が出口入口等を嚴重に相守つて火の用心を嚴重にして鳴物を禁じ、五人三人宛手分けをして臨時に見廻ります、洛中洛外の貴賤老若群集爲し其の有樣は雲霞の如くでございます、時は寬永の三年八月のことでございます、勿體なくも大内に於ては伶人樂人樂を奏して陛下は御車に召され大内より二條を指して行幸あらせられまする


◉全く防腐劑の入らない
日本醇良酒 卸小賣
京城新町 電話九二四 田中酒造場

京城府永樂町一丁目商品陳列館通坂の上
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番


## 暦

二月五日 九紫
舊正月十四日戊寅
本命三碧東建友引


りん病
消渇を自宅で人知れず安全秘密に治す島藥あり彼是と他の療法に迷はず一日も早く申込あれ此藥は他の藥店になし切手三錢送れ其良藥と自宅治療の詳細を報ず
◉名古屋市南かじや町 武藤龜吉

質
京城黃金町二丁目(永樂町停留所北入)
堀佐營業所 電話六三九番

御内意に依り謹製したる
純白 美顔洗粉

◈高貴方の御不自由
皆様御承知の歐洲の戰亂が長びいて、舶來品輸入の途が塞りましたに就て、其筋々でお困りの方が少くありません。中にも化粧品が來なくなつたのには不便を感ぜられる方が多く、殊に從來西洋品をお用ひになつて居られた高貴方の御不自由はまた一通りでありませんでしたが、内國製品使用獎勵の聲が起つてから、先づ上の方々から其れを御實行のお積りで、段々と御檢査の後、日本製品の中で優良なものも現れましたのは大に喜ぶべき事でありますが、從來佛蘭西製の洗粉を御賞美になつて居られた高貴方の思召として、或筋から弊舘へ誠に有難い御内意が傳達されました。

◈有難き御内意
其れは完全な研究の機關のある美顔白粉本舗で、佛蘭西製の洗粉と擬らぬ洗粉を新製しては如何かといふ御注文の意味の籠つた御内意です。弊舘では意外な光榮に感激して進んで御受しましたが、それには餘程研究を積まねばなりませんから兎に角相當な御猶豫を願つておきまして、研究試驗部に於て顧問丹波、山本二博士、主任技師桃谷、小磯、齋藤の三藥學士の智識を搾り、苦心研究數箇月にして、漸う是ならばと自信のある洗粉が出來上がりましたので、早速御獻用を願ひましたところ、幸ひにも非常にお氣に召されたので、其後引續き御誂へに應じて調製して居りました其洗粉を、此度愈々廣く世に發賣する事に致したのがこの美顔洗粉なのです。

◈美容術大家ルウ井ズ孃
今東京で、始終高貴の方々の美顔術と御化粧方とに召される名譽ある美容術大家マリー、ルウ井ズ孃は故國佛蘭西の巴里美顔術學校を卒業して日本へ來られ其の科學的智識と天才的技術とを以て、次第に高貴の方々を始め貴婦人紳士の間に御信用を博した方ですが、此方も高貴方の御用を勸めるにつけて、美顔術上の特殊な料材はそれ〳〵御自分で調劑されますが、一般の化粧品をお用ひの段になりますと矢張輸入杜絶以來誠に困つて居られたのですが、美顔洗粉が出來てからは、非常に喜ばれ、美顔術に美顔洗粉を用ひられるやうになりました。

◈何處が違ふか?
美顔洗粉は普通の洗粉と違ひ、皮膚の清洗劑と共に蛋白質、中性脂肪分、及び最近桃谷研究試驗部で發見完成した美容上最も有効な植物性の粘液素、次に消白作用と言つて皮膚の新陳代謝の作用を活潑にし、段々と垢ヌケするやうにする作用の極く盛な原料、斯ういふものを適度に配合して製へた品ですから、其効果も皮膚を洗ひ淨めるばかりでなく、皮膚を柔かに滑かにし、美しい光澤を添へ、容貌の美しさを增し、更に續けて使へば次第に垢ヌケして色を白くする美容上の効果が完全に備はつてゐて、それに香の美しさ、使ひ心地の快さまで、すつかり行屆いたものであります。殊にこの洗粉は、氣持がよい程色が純白なので、一寸見ても他の洗粉と大分違つてゐる事がお分りになります。皆様、この御内意に依つて創製した洗粉はどのやうな洗粉でせうか、發賣後まだ間もないのに、大變な人氣になりましたのを見ても、此洗粉の品質の特に優れてゐる事がお解りになりませう。未だの方は早くお試しなさいまし、乾度お樂しみが一つ殖ねます。

◎るいれき病にて

五本の指が一本一本大切である如く、
三十二枚の齒も皆大切である。

齒の働きは、食物を咀嚼し、食物の味を感じ、言語を調節し、容貌を整へるにある。それ故、たゞへ一本の齒が缺損しても、咀嚼に、味覺に、言語調節に、容貌美の上に、著しい障害を來すのである。齒を保護するには、朝ご寢しなこに、粉末の最も細かく均整してゐる

ライオン齒磨を

使ふのが最も合理的な

方法である。

東京本所區外手町
ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舗 小林富次郎
支店 大阪 名古屋
(5-743)

タイヨー 萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
大賣捌元 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

(明治三十九年八月十日 第三種郵便物認可) 大正六年二月四日 THE KEIJO NIPPO 第三千三百七十三號 (一)

第三版

京城日報

二月四日
(夕刊と合せて八頁)

小紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵税一ヶ月金拾五錢 郵送に限り前金三ヶ月分……
廣告料 ……
發行兼編輯人 奥田直(?) 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

京城論壇

# 百濟古都

## 廣州古邑案内記

槐園 鮎貝房之進

我邦古文明の淵源たる百濟古都城の研究に就き、今日まで識者間に等閑に附せられたるは、深く遺憾とするところなりとす。殊に最初の都城たる慰禮城及び漢城、漢山城等に付きては、其所在地さへ明瞭ならざるは、史學上一大缺點にあらずや。我々は現在百濟の疆域たりし此の京城に多年の間多數在住し、其地點の甚だ近きにあるにも關せず、之が探訪の勞を取らざりしは、實に燈臺下暗しの譏を免かれざるものなり。余大正五年夏より秋冬にかけ前後六回の探訪を重ね茲に不滿足ながらも其案内記を草し、一は以つて考古學者の資料に供し、一は以つて之を廣く世間に紹介し、多數研究家の往訪を切望して止まざるものなり。

百濟始祖溫祚王十三年間の首都慰禮城[illegible]と、及び其十四年の遷都慰禮城即ち後の漢城は今の廣州古邑の地たることは李朝末期の史學者により唱へられるところにして、最初疆域考著者丁若鏞之を唱へ海東繹史の著者韓致奫、南漢志の著者洪敬謨等從つて之に和す。然らば其の廣州古邑は始祖溫祚の首都慰禮城十三年間と、近肖古移都漢山城若干年を除きたる、約四百五十年間の舊都にして、百濟南遷前の代表的都城なるが故に、先づ廣州古邑を往訪探究することゝせり。

廣州古邑は南漢山北麓にあり、南漢山は北漢江に面して二支脈あり、其東支の高嶺を客山と云ひ西支の高嶺を金巖山と云ふ。其間山麓より山麓に到る、東西廣きは約二十町、狹きは約十町、南北の溪間一帶約一里の平地是れ廣州古邑の地なり。京城より行かんとすれば、利川街道最も近く京城水口門を出で、電車道に沿ひ往十里を過ぎ、箭串橋を渡り道を左方に取りつゝ、廣津に出で、更に漢江を渉りて坦々たる大道を東に行くこと約二里、右顧すれば細上南漢山北城門を望むべし。是れ廣州古邑の入口なり。中に上司倉里、下司倉里、春宮村(一云宮村)等の里村を含む。中央一溪流を通じ溪流に沿ふたるところは水田にして、稍山麓に近くに從つて丘陵起伏人家其間に散在せり。地勢狹長にして、都城としては稍險僻の嫌あるも、前方山巒きたるところは、廣濶たる平野にして、優に大都たる資格あるも、當時の都城は左程廣き地面は要せざりしならむ。また其の主要部は全く廣州古邑一帶の溪間にして、最も要害の地たり。三國史記に曰く『北帶漢水、東據高岳、南望沃澤、西阻大海、天險地利難得之勢。』は百濟國全體の地利にして、高岳を廣州古邑の東方黔丹山とすれば、廣州古邑より約二里あり。沃澤を大旺面屯骨地とすれば、約三四里ありて、廣州古邑よりは、南漢山脈に障られて望見することを得ず。况んや西方大海は約十五六里を隔つ、是れ決して都城の地勢を云ひたるにはあらざるなり。都城の地勢としては『北帶漢水東西南背據高岳、天險地利難得之勢。』とあるべきところ也。余は嘗つて文周王の移都せる熊津(忠南公州)及び聖王の移都せる所夫里(忠南扶餘)を往訪せしに、其地勢は規模の大小こそあれ、皆此の廣州古邑と同型なり。蓋し『北帶江水、東西南背據高岳』は、百濟時代都城を選定する唯一の條件たりしが如し。

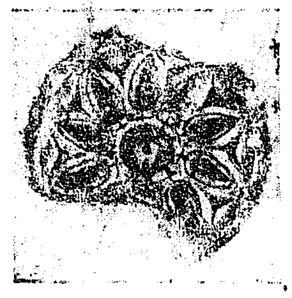
道路は稍や西方山麓に沿ひて南北に通ずるもの、北は利川街道を通じ、南は南漢山城に通ずるもの、春宮村より西に折れ、二聖山城の下溪間を橫斷して松坡に通ずるもの、春宮村の、下端より東に折れて客山々脈の南端丘陵を橫斷して、斗尾津に到るもの、是れ四通の大道たりしが如し。故に若し東西南北の關門ありたるものとせば此の四通の大路の要所に設けられたるを想像すべし。

廣州古邑中にて、比較的最も我々一行に滿足を與へたるところは、其の東部客山下の下司倉里なりとす。客山は即ち南漢山北支中の東一支にして。左程高峻なる山にあらざるも、一峰屹立し珍らしくも山骨を露はさず、温容掬すべき山なり。其形、其大さ、其高さ、共に此の京城景福宮の主山たる北岳に酷似して險ならず、且つ西麓隴畝間人家點在せるところ即ち下司倉里なり。此附近約四五町の間麥隴畦畔に古瓦片山積しあり。また田畝間偉大なる礎石數十箇半ば土中に埋もれて散在せるあり。我々は漢江南北數里の間、約數十箇所之と覺しき古城址を探見せしも、其の遺存物の規模の大なると、其技工の精なること、未だ嘗つて他に類例を見ざりしところなり。故に李朝末期東國史家の謂ゆる『温祚宮墟廣州古邑に在り』の說に信を置き、確かに是は温祚十四年遷都の慰禮城即ち後の漢城の宮墟と推斷すべきものにして、我々は此處を今後廣州古邑下司倉里慰禮城即ち漢城宮墟と稱せんとす。

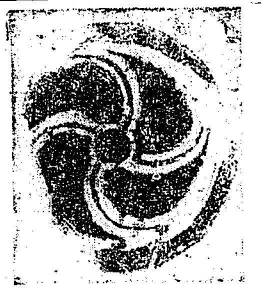
さて、此等の遺物に就き、仔細に點檢するに、宮闕は當時確に火災に罹り頹落せる者なることを知らる。半ば鎔解せる瓦塼等の處々に散在しあるを發見するのみならず、礎石の如き一の完全なるものなく、皆其稜角の毀損磨滅しあるは唯だ年代の古きが故に風雨の蝕盡せるのみにあらざるなり。これは一旦火災の爲に表面剝落せる者なることを知らる。本紀蓋鹵王二十一年秋九月、麗王巨璉帥兵三萬、來圍王都漢城、王閉城門、不能出戰、麗人分兵、四道夾攻、又乘風縱火、焚燒城門、人心危懼、或有欲出降者、王窘不知所圖、領數十騎出門西走、とあり。此の漢城は、即ち廣州の宮墟に當るものにして、單に『焚燒城門』とあれども、大部分は當時兵燹に罹りしものにあらざるか。また麗末以下の東國史家は、此の漢城を今の京城北坊にある都城と考定し一の定說となり居るが如し。然れども蓋鹵王當時の百濟王都は漢北にあらずして漢南たりしことは、歷々として證據を擧ぐるに難からざるなり。

廣州古邑百濟宮墟は、温祚十四年の遷都より蓋鹵王二十一年に至る四百八十一年間より、近肖古王の漢北一時移都の若干年を差引きたる間の都城にして、百濟古都城中代表的都城たりしなり。而して此の間、數回の修葺改築等はありしことを想像すべく、從つて其遺存物の大部分は、最後の物たることを想像すべきも、古瓦破片の如きは、最初より最後までのものを包含せるものと見て差支なかるべし。故に古瓦中其の色、其紋樣等より少くも三種位に大別され得るは其の時代を暗示するものにあらざるなきか。第一に赤色のものは其紋樣漢瓦磚より來り、肌大のもの多く、支那南北朝の特色たる蓮瓣紋、忍冬唐草紋等を施せるもの一切無し。是は其初期のものと見るを至當なりと思考す。次に灰色のものは、技工稍進み、たとへば第一圖及び第五圖の如く、丸瓦、緣瓦等に蓮瓣紋、忍冬唐草紋を施し、手法簡古にして雅純なり。是等は南北朝中期、即ち

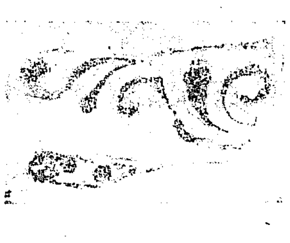
第一圖 (廣州古邑下司倉里)



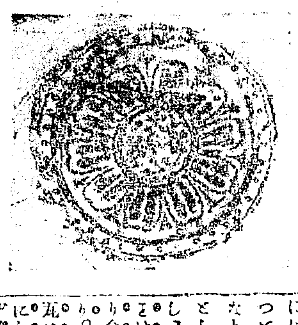
第五圖 (塔洞寺墟)



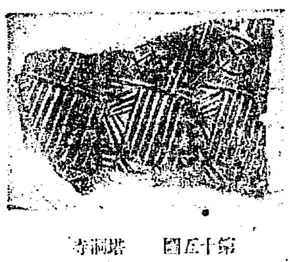
第十四圖 (扶餘半月城)



第四圖 (廣州古邑下司倉里)



第六圖 (廣州古邑下司倉里)



第十五圖 塔洞寺

佛敎渡來以後のものと見て大差なかるべし。次に黑灰色のもの、たとへば第六圖以下の如きは技工稍々精巧に趣き、中期よりは紋樣等も複雜なり。是は南北朝末期に屬するものと見るべし。但し此の瓦色を以つて時代の前後を區別する事は何れにも通じたる證據とはならざるなり。唯だ客山洞宮址の古瓦に就き、此の如き觀察を下すべきを至當なりと思考せしまでなり。百濟宮趾の古瓦は、之を高句麗の古瓦に比較するに、一見之を識別することを得べし。是れたとへ其紋樣等に同じきものあるも、其手法百濟式を發揮し居るが故なり。但し其技工系統を仔細に玩味するに高句麗に類似せる點少からず。而して新羅とは其關係[illegible]薄きが如し。是は文化東漸の順序として當然起るべき結果たるべし。たとへば佛敎東漸の如き、最初高句麗に入り、次に相前後して百濟に入り、次に後れて新羅に入りしと云ふ順序にして、新羅は他の二國よりは約一世紀半後れたるが如し。技工の如きも常に此順序にて發達進歩せしものなるが故に、第一に其時代を等くする點に於て一致し、之に加ふるに地理上の關係民族の關係等、互に共通の一致點ありしは、怪むに足らざるなり。新羅は時代に於て既に後れたるのみならず、地理上民族上の關係等緊切ならざりしが故に、其間斯くの如き徑庭を生じたるものなり。

今總督府博物館及び李王職博物館に備付の高勾麗の古瓦は、漢瓦の影響深甚なるに、平壤方面よりの發見せる漢民族墳墓の瓦磚の紋樣、及び樂浪趾の古瓦の紋樣に多く見るところにして、また高麗古瓦にも最も多く見るところのものと全く相一致せるものを發見せり。又第六圖以下の丸瓦緣瓦等の紋樣及び第十五圖の平瓦の紋樣等は、高句麗の古瓦には見ゐず、全く百濟古瓦の特色とも云ふべきものなり。次に之を新羅の古瓦と比較するに、新羅の古瓦は漢瓦の影響全く無しと云ふも差支なきほどにて、是れ高句麗百濟の古瓦と異なる第一の點なり。但し是は時代及び地理上の關係に歸すべきものなるべし。又高句麗百濟古瓦に多く見ゆる第一第五圖の如き木葉狀を爲せる蓮瓣を見ざるは技工の系統を異にせる第二の點なりしなり。第四圖の忍冬唐草紋の如きは江西古墳の壁畫に多く見るところなるが、高句麗新羅古瓦には、嘗つて我々の淺見なる、一の發見するところなし。但し是等の六朝式特有の紋樣は、新羅古瓦に於いては種々なる紋樣に變化されたるが如く、是も時代關係の然らしむるところなるべし。次に第六圖以下の蓮瓣紋は、高句麗の古瓦には嘗つて見ざるところにして、却つて新羅の古瓦には往々見るところなりとす。是等は文化の東漸の順序として百濟に學びたるものと見るべし、新羅にて技工を百濟に聘したるとは古史の明記するところ。是れ獨り余の一私見のみにはあらざるなり。之を要するに百濟古瓦と高麗古瓦とを比較するに、高麗は手法壯重にして百濟は温雅なり。之を新羅に比較するに百濟は温雅にして簡古なり。新羅は巧緻にして複雜なり。我々は嘗て文周王の移都せし忠南公州及び聖王の移都せし扶餘を往訪し、多くの古瓦を實見し自らも採集して(第十四圖)之を比較するに、其手法は全く廣州古邑のものと同系統に屬すべきものにして、一見之を高句麗新羅の古瓦と區別し得るものなりと雖も、唯だ時代の關係上、優麗の點は客山洞のよりは一歩進みたるが如し。特に第十四圖の振形花紋は高句麗新羅の古瓦には嘗つて見ざるものにして、瓦の紋樣としては百濟獨特のものたるが如し。此の振形紋は江西肝城里古墳玄室拱迫にあり(總督府古墳圖譜李王職壁畫集參看)唯だ此方は簡略にして花紋に應用せる差あるのみ。

廣州古邑中にて客山洞以外百濟遺蹟として世に紹介し研究を要すべき箇所尚ほ數ケ所あり。下司倉里を距る西方約十町許り南漢山の北支金巖山東麓の田畝間に、二基の塔立てり。又塔の上方平地に基石依然として存在せるあり。此れ其の古寺墟たるとは此の二基の塔にて知らるべし。また其の附近田畝間に古瓦累積し其紋樣等は下司倉里と全く同一なり。第五圖の古瓦是なり。寺名創立年代共明かならざるも、塔の手法の輕快簡古なると、古瓦の樣式客山洞と同一なるより我々は百濟當時の古寺なるものと推斷せり。廣州古邑其他に於て我々は數十箇所の採見を試みたれども、花紋を有する古瓦を發見せしは下司倉里と此の古寺墟との二箇所のみなり。

次に一溪を隔てゝ其北方に屹立せるを二聖山とす。山巓土城を繞らせり。洪敬謨南漢志に『二聖山在金巖北有温祚城趾』と云ふもの是なり。余等初め此處を往訪せし時、此の山城を隔つる二里の松坡より望見し、其山名を里人に問ひつゝ進みしに、里人皆[illegible]と答ふ。其の何字を當てたるを知らざりしに、古邑に入り文字を解するものに聞くに、二聖山と書きて答へたり。然るに南漢志を見るに、二聖山と書きあり。里人の稱呼は[illegible]聖山にして、二聖山にあらず。我々は今何れが是なるを斷定する材料を有せざるも、輿地勝覽の如きは温祚慰禮城趾を今の南漢山城と誤認し居たるが故に此の山城に付き何等記載するところなし。然らば南漢志の『有温祚慰禮城趾』と稱したるは餘程後代の事たるべく、此の山名も里人に聞きたる後代の當字と見るべきものなりと思ふ。百濟古都城の南漢山城にあらずして廣州古邑たることは、丁若鏞を初めとして、李朝末期考證學者により唱導せられ、今は定說となり居るのみならず、我々も之を實地に徵し何等疑を挾むべき餘地なし。然らば温祚十三年に築きたる慰禮城は此山城のことにして、此の『二聖』は慰禮城の約言或は訛言にあらずやと思ふ。即ち『[illegible]』の[illegible]は慰禮城の約言、又城聖共に[illegible]にして上下の差ありとも同音なり。二聖[illegible]は更に之を訛りたるものにあらずやと思ふ。何れにしても此の山城は廣州古邑西北の入口に屹立し、都城防禦上最も要害の場所たるが故に慰禮城研究上に重大なる關係あるところなりとす。

次に此の山城の東麓にある春宮村なり。春宮村一に宮村とも云ふ。此の山麓より平地に跨り約十町四方、古瓦片の最も多き散布地なり。當時都城市の主要部分たりしことを想像すべし。而して二聖山東麓丘陵の上に基石の散在せるところあるを見るに當時別宮址の所在地にして春宮村宮村の名因つて出たるにあらざるなきか。此附近最も古瓦片多きにも關せず、技工上參考となるべき花紋を有せる古瓦一も發見するところなし。

次に廣州古邑の中にて、宮址を距る北方約四五丁の處に水田中土壇を築きたるところあり。廣さは約三間四方あり。今李王職博物館入口正面にある鐵佛を安置せる壇なり。此の附近には別に寺墟と覺しきものを發見せず。又其附近には古瓦も見當らず。他より移し來りて此處に安置せしものか或は初より露座せしものか分明ならず。此の鐵佛鑄造年代に就きては或は百濟最古の物となすもの、或は新羅一統後の物となすものありて議論一定せざるが如し。若し百濟の物とせば、實に稀代の珍品たり。我々は何物か年代を知るべき手掛りなきかと、百方捜索するところありたれども、何等の得るところなくして止みたり。故に今茲には此の鐵佛は百濟の都城たりし廣州古邑內にありたるものなることを世人に紹介し置くに止め、更に識者の往訪研究を期待するのみ。

廣州古邑以外に於いて、我々の往訪したる百濟の遺蹟と思はるゝ處數箇所あり。廣津を渉り對岸沙原を横ぎり右に折れ行く數丁、漢江岸に沿ひて堤防を繞らしたる小村あり。風納里と稱す。人家數戸あり。中に窯業を營むものあり、素燒の甕類瓦を燒く。此の堤防は數町の間斷續殘存しあり。近いて之を檢するに樹木茂生小山の如く一見城壁の觀あり。是は漢江水の氾溢を防ぐ爲の堤防にあらざると、其兩端が漢江の方に向つて彎曲しあるにて知らる。恐くは長圓形に圍繞せるものが、年代の久しき江水に沿ひたる一半は崩壞し了り一半を殘存せしものたるべし。若し此の觀察をして誤りなからしめんか。何か由緒ある百濟時代の別宮の跡か或は城市の跡ならざるべからず。諸種の記錄に徵するも何等記載するところなし。今略記して識者の研究に待つ。

次に松坡の南方約半里許にして、宮村と云ふところあり。諺傳百濟の別宮ありしより宮村と云ふとの事なるより態々往訪探見せるも何等得るところなかりき。僅に南方山麓に、寺墟の存するありと云ふ里人の知らせに、行きて實檢せしに、寺墟は寺墟なるも左程古きものにあらず、失望の餘り一の峠を越ね西北方に向ひ漢江に出でんとし行くこと約半里許り漢江南岸に古土城の在るに會せり。里人は佳子洞と呼ぶ。山上に土城を繞らしあり何れも人工を加へたる山なれば、遠くより之を望むも其山城たるを識別し得べし。此處は漢江三叉の地にして楮子島其右に浮び前面遙島の平野を隔て北漢山連峰を一眸の下に收め風光雅絕なるのみならず最も要害の地たり。山上古瓦多く散布せり。其紋樣客山洞と同系統のものなり。此處も輿地勝覽南漢志等何等記載するところなく、之を里人に聞くも何等得るところなし。是も百濟古蹟として何等か由緒あるところなりと思ふ。

次に雌馬場の土城なり。京城を出で往十里を過ぎ箭串橋を渡り松坡街道を行くこと一里强一村あり雌馬場と云ふ。此の村の後方平地より丘陵に跨りて土城あり此の土城の南端は松坡街道に沿ひて彎曲し、江岸に連亙せる丘陵に連絡せり。此丘陵中南端にあるを里人大闕台と稱す。丘上平坦に切り取られ古瓦多く散布しあるより古く建築物のありしことを推定さる其古瓦は其紋樣客山洞と同樣なり。其名の大闕台と稱するより百濟別宮址のありしところにあらざるなきか溫祚十四年(築城漢江西北分漢城民)は此の城市にあらざるかと思ふ。東國史家は此の時の城を廣津の後方なる阿旦城即ち今の峨嵯山城の如く考證しあるも既に分漢城民と云ふ。山城の如き人の住まはれざるところにはあらざる也。城市防備として山城も築きたるべきも、そは一部分のことにして、主要の目的は平地にある城市を築きたるものたるべし。尤も此の土城の北端は栗里毛陳洞等の丘陵を經て峨嵯山に連絡し居る形跡あり。

次に峨嵯山城なり。京城を出で往十里を過ぎ箭串橋を渡り利川街道を取りて牧場平野を横り將に漢江に出でんとする其左方に聳え立てる山を峨嵯山と云ふ。一に龍馬山とも呼ぶ。其南一支山脈西北に向ひて土城を繞らせるもの是れ即ち峨嵯山城なり。其東麓漢江に臨みたるところは即ち廣津にして、驛名を春風亭と稱す。山脈漢江に沿ひて連亙し其北端は望月峴の險を控へ百濟都城、即ち廣州古邑よりせば最も要害の場所にして、都城防備の第一線たり。此の山城三國史記の阿旦城にして、最も古くより現はれたる城なり。洞溝好太王の碑には阿旦城とあり。[illegible]なれども相通じて用ゐられたる借字にして何れに從ふも妨なし。峨嵯は即ち아차にして野を文に改めたるまでなり。其位置及び名稱等より三國史記及び好太王碑文等に顯はれある阿旦城たることは最早疑を挾むの餘地なく百濟實稽王元年に高句麗の侵略に備ふるが爲に修葺せる城も、亦蓋鹵王廿一年高句麗が百濟都城を陷れ蓋鹵王を俘送し來りて殺したる城も皆此の城たることを知るべし。史學上最も重要なる城なり。我々は未だ山上に登攀する餘暇を有せざりしも、若し山城內を仔細に討索するにおいては、何らか當時の遺物の發見せるものありて何ほ一層考證の資料を得べきを期待するものなり。

## ○御眞影奉迎

皇后陛下御眞影は三日午後五時全北道第一部長大久保到氏奉迎無事著御あらせられたり此の日全市は戸々に國旗を掲揚し官民學生等多數停車場に出迎へ奉れり（全州特電）

## ○青木中將赴任期（別報）

久しく懸案となり居たりし支那顧問招聘問題は日支兩國民の誠意相互に了解せられ愈々我陸軍中將青木宣純氏總統府顧問として招聘の事に確定したるより同中將は參謀本部附步兵大尉岡村寧次氏を隨へ來る十四日若しくは十五日東京驛發朝鮮經由北京に向ふ事に決せり（東京特電）

## ○製鐵所長官更迭

### 農商局長の異動

農商務省高等官の異動は二日の閣議に於て協議ありたる筈なり右に關し確聞する所に依れば愛に辭表を提出し居たる製鐵所長官押川則吉氏の辭任を聽許せられ其の後任として現上山次官長官たるべく斯くて次官には岡商工局長就任し道家農務局長は此際勇退して貴族院議員に勅選せらるべしと言ふ（東京特電）

## ○農商官吏異動

既報の如く三日農商務省局長左の如く更迭ありたり（東京特電）

農商務省書記官 鶴見左吉雄
任農商務省水産局長（二等）

農商務省特許局事務官 村上隆吉
任農商務省特許局長（二等）

農商務省山林局地方課長 八木武三郎
任農商務省商事課長兼商品陳列館長

農商務省水産講習所技師 伊谷以知二郎
任農商務省水産講習所長（二等）

農商務省山林局事務官 齊藤總三郎
任農商務省書記官（五等）

農商務省鑛山局長 磯部正春
同 水産局長 松崎壽三
依願免本官

【附記】昨夕刊「鑛山局長磯部正春任農商務省特許局長」とあるは誤報に付き愛に訂正す尚特許局長崎川才四郎氏の更迭は夕刊所報の如し

## ○内務官吏更迭か

遞信農商務兩省高等官の更迭に次ぎ内務省にも更迭行はるべく現土木局長小橋一太氏は渡邊勝三郎氏に代り地方局長に轉任すべしとの說あり（東京特電）

## ⦿滿洲の親日傾向

### 張督軍の親日告示

鄭家屯事件解決と共に滿洲に於ける支那官民の對日感情は頓に良好に向へりと言ふを得べく邦人の一部には本件の讓步的解決が支那官民の輕侮心を增長せりと說き又奉天省議員の中には猶ほ種々の理窟を捏ね居るもある模樣なれど大體は感情融和の傾向ありと謂ふを得べし

▲寺内内閣出現 當時支那官民の或部分には首相寺内伯が軍界の權威たると寺内伯に依りて行はれたる韓國併合の事情と歷史的由來の眞相を知らず漫に之を誤解したる等により一時危惧心を懷き居たる者もありしが寺内内閣が前内閣の散漫不統一を極めし對支外交政策に一大刷新を施し徹底的に日支親善の實を擧ぐるに努め之が爲め其の障碍たる鄭家屯事件に對し出來得る限り支那側の意思を尊重し而して之を解決したる事は一時危惧心を懷き居たる丈け之を渙起せしめたるもの丶如く現に張奉天督軍の如きは「日本の對支政策は從來殆んど其の眞意の存する所を了解するに苦みしが寺内内閣出現後の當今に至りて始めて日本の他意なき事を心會するを得たり」と稱し非常に喜色を顯はし居るとの事なり張督軍の事ゆゑ此言にも何等か裏面的理由あるべきも啻に此の將軍のみならず一般の對日感情が一時の險惡狀態より脫出せることは先づ爭ふべからざる事實なるに似たり

▲張督軍の謝罪 は鄭家屯事件解決中比較的重き一條なれば其實行の時期及び方法等を我が總領事館と充分打合せたる上實行の段取となるべきが二十八師長申斥、責任將校懲罰、親日告示、死亡邦商賠償の四件は速に之を實行すべく親日告示は既に發せられたり此の親日告示に就き奉天省議員の内には張督軍に對する反感並に黨派的關係等より面白からざる言動をなす者ある模樣なれど是等は固より論ずるに足らず

▲既設日本警察署 を撤回せしむべしとは此種論者の說にして支那政府も日本警察署設置は之を認めずと稱し居れど滿蒙は特殊の地域にして日本の優越權は列國之を承認し支那政府も之を認め居り日本人の居住、營業、旅行の自由と共に我が總領事館增設の必要あり既に其の增設に著手せる今日之れに伴ひ日本警察署の設置を見るは當然の事實にして從來認め來れるものを今更撤回せしめんとするが如きは到底行はるべき事實に非ず況や支那警察力の極めて不充分なる滿蒙の地域に於てをやされば此明確なる事實上の理解力も親日傾向の顯著なると共に自ら渠等の間に生じ來るべく旁々一部の間に今猶行はるゝ反對意見の類も早晩消滅さるゝに至るべき乎となり

▲在滿邦人の態度 も近來除穩健となり空力み若くは商壓的手段を以て支那人に對するが如き風は餘り是あらずと稱して可なるべく從つて支那官民の反感情を助長する與も先づ尠なき方なれど吉林及び蒙古方面は保證の限にあらず殊に此の方面に於ける下等日本人の態度又は言動が其等地方に在る支那人の輕侮を招き或は往々反感を助くる動機となるは遺憾の極みなり（大連）

## ⦿朝鮮貿易（九）

### 五、輸移入貿易（續）

#### 輸移入品種の增減狀況及び其の因由

顧みて本年の輸移入貿易上に於ける消極方面を觀察するに鐵道及び水道工事の關係、米價安、朝鮮に於ける生產高の增加、船腹の缺乏、時局の影響等に因り軌條、枕木、機關車、鐵管、米、粟、叺、繩、酒精、モスリン、電鍍板等に稍注目すべき入減を示せる外著しきものなし今輸移入重要品に就き昨今兩年の貿易數額を比較し進で本年增減の著しきものに就き概略の事由を述ぶれば如左

▲米（減） 二十三萬五千三百六十二圓の輸移入にして前年に比し八萬一千百四十五圓の減退なり外國米は鮮米の低落に依り代用品としての價値を失ひたるのみならず時局の影響を受け既に前年に於て多大の入減を示せるが更に本年に入り一層の不振に陷れり唯だ本年朝鮮に於ける米價內地に比し上騰を示したる爲拂下調節米其の他內地米の移入約十五萬圓の增加を示したる結果尚ほ前記の輸移入額を計上せしものとす

▲粟（減） 九萬三千百八十四圓の輸移入にして六十七萬二千八百七十圓の激減なり本品亦米價安に伴ふ代用向需要減及び朝鮮粟作の良好に加へ滿洲に於ける不作、防穀令、銀價高等の影響に因るものなるが一面內地產の移入三萬五千餘圓を算したるは前項內地米の移入と共に從來稀有の現象たり

▲小麥粉（增） 八十六萬四千六百十三圓の入荷にして十八萬九百十一圓の增加なり之れ本年米價は前年に比し高値なりしに本品相場は時局の推移に伴ひ內地產滿洲產の供給增加したる等の爲却て低落せしを以て自然需要を喚起したるに因る因に米國粉の輸入は依然減退を示し內地粉の移入益々增進せり

▲食鹽（增） 一百九萬六千七百六十二圓の入荷にして二十四萬四千五百四十四圓の增加なり本年官製鹽は增收を見たるも中部以南地方に於ける民製鹽は天候の關係上不作なりしと時局の影響として再製鹽其他の補鹽方面向輸出增加とに因り支那鹽に對する需要多く支那に於ける生產の良好と相俟て輸入未曾有の旺盛を示したり

▲蜜柑（增） 二十九萬一千八百六十五圓の移入にして八萬六百十一圓の增加なり內地豐作にて相場安なりしと好景氣の爲移入好況なりしに因る

▲其他の生果（增） 二十二萬五千七百四十二圓の入荷にして八萬四千二百三十一圓の增加なり主要品たる夏蜜柑は前年內地の作柄不良にて入荷不振なりしに反し本年豐收を告げ激增を示せると梨子は朝鮮產不作の爲入增を見たるに主因す

▲砂糖（增） 一百八十九萬八千五百八十七圓にして三十五萬七千二百六十八圓の增加なり前年に於ては購買力不振の爲不況を示したるに反し本年は賣行良好なりしと商勢漸騰の趨向を呈したる關係上思惑品の入荷ありたる等に因る

▲石油（數量減價額增） 二百三十三萬六千五百九圓の輸移入にして六十三萬四千七百二十九圓の增加なるも數量に於ては百二十二萬六千餘罐の減退なり之れ市價暴騰の結果にして內地產の移入は外油高の爲引續き好況を示し蘭領印度產は激減せり

▲綿織絲（數量減價額增） 三百五萬一千七百九十九圓の入荷にして六十一萬五千九百五十二圓の增加なるも數量に於ては二十四萬二千餘斤の減退を示せり政府の機業獎勵に依り本品の需要漸增の傾向を呈するに至り殊に本年原棉の騰貴は在來棉に在りても多數の放資を見たる狀態にて延て本品の需要を好況ならしめたるが如き事情ありしも絲價の暴騰と前年に於ける移入多額なりしとは遂に前記の結果を齎せり

## ⦿停車場並に列車と通信設備

遞信局通信課長 矢野義二郎氏談

▲鐵道停車場 所在地は旅客の乘降及び貨物の集散する地點なるを以て獨り郵便遞送上のみならず集配其他通信力の點より見るも亦頗る重要なりされば我朝鮮に於ては郵便局所の普及未だ不充分なりと雖も鐵道停車場附近には郵便局所の設置比較的少なからざるものあり之れ郵便遞送集配其他通信上の關係上然らざるを得ざる爲めなり而して朝鮮に於ける鐵道停車場の總數は百七十一驛を算するも驛を中心として一里以內に郵便局所の設置あるものは百二十一箇所にして設置なきものは僅かに五十二驛に過ぎず即ち總驛の三分二以上には郵便局所の設けあるを以て其普及は比較的に充分なりと云ふを得べし今之れを各線別とすれば

▲京釜本線に は四十五驛中一里以內に郵便局所の設置なき驛所在地は僅に五驛あるのみにして京義本線は四十八驛中十七驛湖南線にて二十九驛中十二驛清津蒼坪間は六驛中三驛京元線には二十五驛中十一驛のみ一里以內に郵便局所の設けなし其他元山永興間黃州兼二浦間平壤鎭南浦線及び京仁線等の各驛中郵便局所の設置なきものは合計九驛を數ふるに過ぎず即ち以上の狀況より見れば京釜線の各驛には郵便局所の設置最も多く清津蒼坪間には比較的少なきを知り得べし

▲列車と通信 朝鮮に於ける鐵道停車場と郵便局所との關係は前述の如くなるが獨り鐵道列車と通信との關係を一言せんに列車旅客は昔日よりも通信の點に關し諸般の活動上利便多きこと丶なれり即ち汽車中にありても電報を受信し得る利便の如きもの其他列車中にて認めたる郵便物の發出に就て特別の設備しあること之れなり例へば京釜線の著間の列車にて郵便車の側面に郵便受函を設備しあり旅客の郵便發出の便を計り居れり目下郵便受函の設備は京釜線のみなるも其成績頗る良好なるを以て他日他線にも之れが設備を普及し得るとなるべし

⦿歐米の進步 內地及び歐米諸國の鐵道列車の急行車は途中停車せざる驛と郵便列車との間には郵便受渡の爲め機械受渡の方法を採用し以て郵便の速達を計りつゝありと雖も我朝鮮には未だ此受渡機械の設備を必要とするの時機に至らず又米國の鐵道列車中には無線電報を發受し得る樣列車內に無線電信の設備せるものありと雖も之れ亦未だ我朝鮮に實施する程の必要なきものとす要するに鐵道の改良發達と共に通信事業も亦列車中に各種の施設を見るに至るべし尚ほ朝鮮に於ける鐵道停車場の總數中には輕便鐵道の停車場を含まず

## ⦿郵貯益々增加

朝鮮郵便貯金は一月中旬一千萬圓臺を突破したるが其後も漸次遞增の趨勢を示し一月末現在は預入人員百三萬八千人此の金額一千〇二十一萬二千圓の多額を示したり尚ほ二月に入らば納稅預金引出し若干を生ずべく或は多少の減少を示さずやと云ふ

## ⦿陸宗輿氏退京

二日夜入京朝鮮ホテルに滯在中なる前駐日公使陸宗輿氏は四日午前八時三十分南大門驛發列車にて退京東京へ向ふ可し

## ⦿氣象電報と利用

一月一日より開催せし朝鮮氣象電報は料金の低廉と諸種の便宜多き爲め航海業者漁業者に其の利用者續出の傾向あり鎭南浦中村組を初め海州方面より申込者多しと尙ほ同電報の料金は一通十錢なり

## ⦿近寒と金塊減

舊臘來の近寒は各方面の作業其他に大打擊を與へたるは云ふ迄もなく就中西鮮地方の生命とも稱すべき鑛業の作程を沮へたるは夥大なるべく現に一月中平壤稅關扱の移出金塊高は十六萬一千圓にして昨年同期の三十一萬二百圓に比すれば實に十四萬六千二百圓の激減にして全く昨年の半減に過ぎざりしが一昨年來移出金塊漸增の趨勢に徵して斯の如き激減を見るは眞に異數とする處なれば之れ疑ひもなく寒氣の爲め鑛業作程を阻害されたるものと認むべく卽ち近寒の鑛業に影響したる其一證となすべし（平壤）

## ⦿古城醫官渡歐

全州慈惠醫院醫官古城貞氏は醫學研究の爲三日歐洲留學の途に上れり（全州特電）

## ⦿善隣商業生徒募集

同校は今般新學年に際して本科第一部（甲種商業程度內地人）一學年に五十名、豫科（內地人）一學年に六十名、本科第二部（朝鮮人）一學年に六十名、夜學專修科（內地人）一學年に八十名夜學高等科（內地人）に五十名の生徒を募集し志願者は三月二十五日までに入學願書を差出すべしとのことなり今般更に規模を擴張して豫科（二箇年）を增設し之を本科一部に連續せしめ豫科本科を通じて五箇年の修業年限とし完全なる甲種程度の商業教育を修了せしむる計畫なりと

## 大阪より

▲稀有の大般若經 近江國神崎郡三峰村大字山路石馬寺より稀代の大般若經を發見せり右は今を去る七百有餘年若くは千年前の年號ある悉く肉筆にて稀有の珍寶なりと其一部は今上五宮親王と記入しありと

▲煉瓦輸出旺盛 支那及び印度の方面に輸出せる本邦產耐火煉瓦は歐洲戰亂勃發以來殆んど輸出杜絕の有樣なるが其後品川白煉瓦は輸出頓に旺盛を極めこれ迄月產額僅に百萬本內外に過ぎざりしものが現在に於ては無慮四百萬本を生產するに至りしも到底かゝる數量にては需要に應ずる能はざるを以て更に目下新築工事の大阪工場完成せば優に月二百萬本內外を製出し得る筈なれば同方面の需要增大と共に輸出は今後益盛なるべし

▲大株增資程度 大阪株式取引所增資は千五百萬圓にて舊一株につき新一株を割當て殘餘二萬株は仲買人及び功勞者に分與すと

▲製紙界の漸騰 內地製紙界は漸騰の傾向あり去二十日東京に於ける全國製紙聯合會に一割方値上の提案ありしが販賣業の反對あり二月中は現狀を維持し三月より値上すと

▲民間水上飛行 元所澤陸軍航空隊教官步兵中尉川上親孝氏は昨秋病氣のため依願免官となり爾來靜養中のところ東京市の特志家梅田勇藏氏の後援を得て民間飛行家白戶氏所有のインデアン六十馬力發動機附のツラクター式カーチス水上飛行機を買入れ去る一月六日より來阪西宮西濱臺場前の格納庫に於いて組立てをなし同月十三日同海岸にて試驗飛行を行ひたるに尙改造の必要を認め直ちに解體の後翼全部を張り更へ又牽引式を推進式に更め此程漸く竣成したるを以て近日飛行を試むこと丶なり因に同氏は今後民間飛行家として飛行の普及せんとの希望を有するより來る九日より三日間和歌山に於いて飛行會を催し次で淡路州本四國高松等に飛行すと（大阪支局）

### 人事消息

▲小原農商工部長官 四日午前八時三十分南大門驛發支部へ出張
▲尾崎敬氏（實業家） 三日夜入京朝鮮ホテルへ
▲玉木孝次郎氏（大倉社員） 三日夜退京

## ⦿南言北語⦿

米獨國交に關する使命を帶びて伯林から歸つた米國大使ゼラード氏が獨逸の意氣込を語つた事がある▲其の一節に斯くなる以上は武裝せるとせざるとに拘らず敵國と中立國との差別なく英國海岸に近寄る船は悉く擊沈せよと云ふのが獨帝の命令である▲米國との潛航艇陣營‖獨人は斯く呼で居る‖協約を撤去せよ▲今更米國を敵とするも五十步百步の差のみウキルソン大統領にして根本的に地步を進めざるに於ては進んで開戰せよとは獨逸國民の叫びである▲と云つて居るが相も變らぬ獨逸の恫喝だらうと笑つて居ると今度此奴が愈々本物になりかけたらしい▲獨逸が各中立國に向つて之から思ふ儘に海戰をやる積りだから其の覺悟が願ひたいと船舶襲擊を公表して居る處を見ると威嚇が七分で死物狂が三分である▲米國とても無論此の通牒をオイ其れと承諾はすまい▲敵ながら其の意氣込は壯とすべしだが倒れるなら思ひ切つて荒れ回つて潰て倒れやうと云ふ決心は何處迄も蠻勇の本音を吐いて居る▲何時の選擧でも各派の首領株で一度も選擧區へ行かずに當選するのは政友會總裁の原敬君一人だと云ふ▲犬養君も無論自身のみならば岡山迄行くにも及ぶまいが同志の應援として是非出馬を餘儀なくされる▲尾崎河野、武富、島田、元田の諸君何れも相應に戰鬪せずには居られない▲原君の此の勢力は每年一度必ず展墓に歸鄕して盛んに有權者を饗應してあるからだとサ


**善隣商業學校生徒募集**

| | | |
|---|---|---|
| 本科一部一年 | （內地人） | 五〇名 |
| 本科二部一年 | （朝鮮人） | 六〇名 |
| 豫科一年 | （內地人） | 六〇名 |
| 夜學專修科 | （內地人） | 八〇名 |
| 夜學高等科 | （內地人） | 五〇名 |

規則書入用ノ方ハ郵券二錢封入セヨ
入學願書提出期限三月一日ヨリ同二十五日マデトス　豫科設置ハ申請中

**最新刊**

| | | |
|---|---|---|
| ◎當世百道樂 | 堺內新泉 | 一、二〇 |
| ◎支那語大辭彙 | 石山福治 | 四、五〇 |
| ◎水力タービン | 內丸最一郎 | 三、〇〇 |
| ◎電氣工學初等計算法交通理論 | 扇本眞吉外三工學士 | 五、〇〇 |
| ◎實驗副業利殖法 | 副業研究會編 | 七〇 |
| ◎銀行論 | 山崎覺太郎 | 七〇 |
| ◎口語法 | 文部省編 | 四五 |
| ◎明暗 | 夏目漱石遺著 | 二、五〇 |
| ◎近代小說史 | 藤岡作太郎 | 二、五〇 |
| ◎墨西哥と其の天產 | 村岡玄隆 | 一、五〇 |
| ▲新運命の開拓結婚と合性 | 岡谷種千 | 一、〇〇 |
| ◎死者生者 | 正宗白鳥 | 九五 |
| ◎無我の生活 | 新井石禪 | 九〇 |
| ◎獸仙禪話 | 日置默仙 | 九〇 |
| ◎日蓮聖人の孝道 | 磯野本精 | 九五 |
| ◎日蓮主義 | 本多日生 | 九五 |
| ◎古今名家書翰集 | 水野葉舟 | 六五 |
| ◎木堂翰墨談 | 油屋達 | 一、〇〇 |
| ◎新式實用書翰綱修 | 山口虎雄 | 一、〇〇 |
| ◎ある青年の夢 | 武者小路實篤 | 一、四〇 |
| ◎小說つきぬ涙 前後編 | 篠原嶺葉 | 各六〇 |
| ◎ドンキホーテ冒險お伽噺 | 和田、星野共譯 | 六五 |

◎尋常高等全科參考書前期用其他入學參考辭典類深山著術致候

大阪屋號書店　京城本町一丁目 電話六〇二六番 振替京城二五七三番

**株式會社百三十銀行 第卅七期營業報告**

貸借對照表

| 資產 | 金額 |
|---|---|
| 諸貸出金 | 四、八二九、九九九、四七〇 |
| 他店へ貸（一二三〇箇所） | 二、〇三五、九六九、九〇四 |
| 預ケ金 | 四三〇、〇七〇、二四〇 |
| 有價證券 | 五、七六一、二六〇、五〇〇 |
| 營業用土地建物什器 | 八九七、二六六、六二七 |
| 所有動產不動產 | 六二三、八五一、〇〇〇 |
| 雜勘定 | 九三、三〇、六二〇 |
| 現金有高 | 一、九三六、五二七、〇四六 |
| 合計 | 五六、一三六、三五五、五四三 |

| 負債 | 金額 |
|---|---|
| 資本金 | 五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 法定準備金 | 二六〇、〇〇〇、〇〇〇 |
| 諸預り金 | 四二、七九五、八二〇、一五三 |
| 支拂送金爲替手形 | 一四七、二九二、五四〇 |
| 他店ヨリ借（一八六六箇所） | 三、六九二、七一〇、四六〇 |
| 再割引手形 | [illegible] |
| 未拂配當金 | 六、四〇一、八九九、〇〇〇 |
| 未拂利息及未經過割引料 | 五〇一、三七二、六五〇 |
| 合計 | [illegible] |

利益金勘定
當期純益金 壹萬參千七百拾貳圓拾四錢
前期繰越金 [illegible]
合計 [illegible]

之ヲ左ノ如ク處分スルコトヽス
金貳萬圓 法定準備金
金壹萬圓 役員賞與金及交際費
金貳拾萬圓 配當金（年八分）
金八萬參千七百拾貳圓拾四錢 後期繰越金

大正六年壹月
株式會社百三十銀行

| | |
|---|---|
| 取締役頭取 | 安田善三郎 |
| 取締役副頭取 | 高橋長秋 |
| 取締役 | 小川爲次郎 |
| 取締役 | 西爲兵衞 |
| 取締役 | 小森清和 |
| 營業部長 | 右近脇 |
| 監査役 | 森藤爲三郎 |
| 監査役 | 內村清 |
| 監査役 | 河邊 |
| 監督 | 安田善次郎 |

補缺選擧ニ取締役ニ內藤爲三郎氏監査役ニ藪田岩松氏當選就任ス

**大正五年下半期第貳拾貳回決算報告**

貸借對照表

資產之部

| | |
|---|---|
| 未拂込資本金 | 四、八〇〇、〇〇〇.〇〇 |
| 興業費勘定 | 五、六壹八、六六壹.四九 |
| 興業費未決算勘定 | [illegible] |
| 材料品勘定 | [illegible] |
| 半製品及製品勘定 | [illegible] |
| 營業貸勘定 | [illegible] |
| 假拂金勘定 | [illegible] |
| 受取手形勘定 | [illegible] |
| 有價證券 | [illegible] |
| 銀行勘定 | [illegible] |
| 現金勘定 | [illegible] |
| 合計 | 壹六、六七七、壹壹七.壹貳 |

負債之部

| | |
|---|---|
| 資本金 | 壹貳、〇〇〇、〇〇〇.〇〇 |
| 法定準備金 | 七七五、〇〇〇.〇〇 |
| 別途積立金 | 九〇〇、〇〇〇.〇〇 |
| 使用人退職手當基金 | [illegible] |
| 諸預リ金 | [illegible] |
| 未拂金勘定 | [illegible] |
| 假受金勘定 | [illegible] |
| 營業借勘定 | [illegible] |
| 未拂配當金 | [illegible] |
| 前期繰越金 | [illegible] |
| 當期利益金 | [illegible] |
| 合計 | 壹六、六七七、壹壹七.壹貳 |

財產目錄
貸借對照表中資產之部ト同一ニ付略ス

利益金分配

| | |
|---|---|
| 當期利益金 | 一、參五四、五六〇.八〇 |
| 前期繰越金 | 四七五、〇六七.九五 |
| 合計 | 壹、八貳九、六貳八.〇參 |
| 法定準備金 | 七五、〇〇〇.〇〇 |
| 別途積立金 | 四〇〇、〇〇〇.〇〇 |
| 役員賞與金 | 六七、七貳八.〇〇 |
| 株主配當金（但年壹割貳分） | 四五壹、貳〇〇.〇〇 |
| 株主再配當金（但年四分） | 壹五〇、四〇〇.〇〇 |
| 株主臨時配當金（但年四分） | 壹五〇、四〇〇.〇〇 |
| 使用人退職手當基金 | 貳五、〇〇〇.〇〇 |
| 後期繰越金 | 五〇九、九〇〇.〇參 |

右之通候也

大正六年壹月貳拾八日
大日本麥酒株式會社

| | |
|---|---|
| 取締役社長 | 馬越恭平 |
| 常務取締役 | 植村澄三郎 |
| 常務取締役 | 高杉晋 |
| 取締役男爵 | 大倉喜八郎 |
| 取締役 | 土居通夫 |
| 取締役 | 大橋新太郎 |
| 取締役 | 宅德平 |
| 監査役 | 桂二郎 |
| 監査役 | 大川平三郎 |
| 監査役 | 武內常太郎 |

右審査候處相違無之候也

追テ取締役貳名（補缺）、監査役參名滿期改選ノ結果取締役ニハ上野金太郎君、宅德平君、監査役ニハ武內常太郎君、仲田慶三郎君、大橋新太郎君當選就任セリ

サッポロ、エビス、アサヒ、ミュンヘンビール

清涼飲料 リボンシトロン リボンラズベリ

約は日に減縮し來れるを以て露政府は國家に納入するを除ける外の原料……

▲今能く賣る　▲遂に辭任

……は國務院の裁定を經て後決行さる

# 赤道直下の島々から 朝日を浴びて君ヶ代の歌聲 感極まつて涙に咽びしも幾度ぞ

（南洋新占領地物語の二）鎭海要港部司令官海軍中將　東郷吉太郎氏談

島民の教化には國語の修得よりも先づ天皇陛下とは如何なる尊きお方であるか其の天皇様のお在でになる日本國とはどんな國であるかと云ふ事が

◆第一番で國語は

寧ろ此の尊い意義を了解せしめる爲めに大急ぎに教へて居るのであると云へる予は此の教育方針を取つて小學校生徒に對して先づ天皇陛下と云ふ言葉をよく記憶させる　天皇陛下は日本の外には二人と何處にもお在でには成らぬ大古の神様の御血統の尊い方であると教へて　天皇陛下の御尊號は決して獨逸語西班牙語は元より

◆土語にも譯す事

を許さない譯すとカイザルに成つたりキングに成つたり土民には酋長にもなるからである、その次には國旗は日本の國の表徴である事をもよく教へて毎日授業を始める前には日章旗を揭げて君が代の唱歌を三唱してからでないと決して授業を開始しない事に成つて居るから今では一千の群島中到る處で朝は君が代の唱歌の

◆譜を聞かぬ處は

ない程に成なつた土人の嗜好は歌謠が第一であるだけに先天的に唱歌には堪能で譜も節も内地人と少しも變らず其の上唱歌の意味も反復して教へて居るからよく了解して居る天涯遙かなる赤道直下の島々から頭い朝日の光を浴びた椰子樹の際から嚠々と君が代の唱歌の響き渡つて來る時に予は我れを忘れて幾度も

◆陛下の御稜威の

尊き有難さに感極まつて咽び泣いた事さへ有つた、小學校で二年修學して國語のよく話せる者は役所の給仕などに傭て居るし行く〳〵は巡査補のやうなもの又は下級の役人にも取立てゝやろうとして居る、島民は非常に教育を悦んで日本が占領と共に多數の學校を建てゝ異れた事を徳として衷心感謝を表して居る、地方の守備なども寺子屋式の教授を爲て居るから行々は島民と子弟の關係が生じ現在に於ても

◆土民は自分達の

子供が教育を受けたり可愛がつて貰ふものだから心から悦んで守備隊と土民との間は非常に圓滿であるそればかりではない獨逸統治の時代には島民は酋長でも獨逸人の家に行くと玄關にも上る事を許されないどんな用事でも庭先に居つて言付けられて居つた、處が今では各地方の守備隊長や分遣所長などは

◆其の地方の酋長

や土地の有力者古老を集會して其の意見を聽くと云ふ風にするから島民は全く心服して居る事は自分の慾目からばかりでない、學校は現在の八校の外に更に增設する計畫であるが今では入學生徒の數に制限があるから酋長其他有力者の子弟を多く選抜して教育して居る、斯くの如くして

◆我南洋占領地は

産業の基礎が定まり各起業者の事業區域も劃然として徒らに競爭の起るべき原因を除き、其の歲入に於ては獨逸の領有時代よりも遙かに增加し教育に於ては更に幾十倍の好結果を擧げ得たのである（未完）

ヤルイト島道路

# 野砲兵中隊幕營の記 氷風颯々、卅四頭の栗毛の駒に

京仁街道富川郡富内面大井里の丸鳳山麓に砲列を布いて空彈發射演習をした野砲兵第六中隊は午後五時頃

◇富平原野

を左手に眺め、白雪々たる丸鳳山を右手に仰ぐ一丘陵に露營の陣を張る事になつた、四温の碧空澄みたりとは謂へ蕭條たる原野薄靄に似た四方の連山を吹き渡る風は稜々として膚に徹つて將校の號令嚴として傳はれば士卒蕭々として動く軍馬慘として嘶かざるあたり實に落日の野營地は一種謂ふ可らざる凄愴悲痛の氣に滿て居る、兵卒は

◇砲車彈藥

車から馬匹を徹すると共に砲車の轅と轅に數十間の馬列綱を結び著け、手綱を執つて三十四頭の栗毛の駒を二列横形に繫ぎ了れば三八式口徑七珊砲は、直ちに解體されて洗桿を以て磨かれ、幕舍は北西風を避けて松林に作られ、炊爨係は富平驛近き民家の庭に竈を築くなど、電光石火的に野營の準備に著手する中隊長

◇前田大尉

は小高い丘陵に立つて中隊を指揮して居つたが記者を見るなり笑傳として「今度は耐寒行軍であつたが、比較的温かつたので緊張して居た氣も緩んで聊か物足らない樣な感じがする、併し一日の午前八時中隊を出て燹々たる三騣六轡の響きに自ら氣も勇みつゝ漢江の氷上渡渉を試みたのは愉快であつた、當日の氷の厚さは三十五サンチ平均もあつたので、六頭の

◇車馬一輛

の砲車を一聯にして完全に渡渉する事が出來たが、萬一を慮かつて馬を徹して砲車彈藥車は兵卒が牽き馬は相當の間隔を保ちつゝ進行し、第一砲車が對岸に著いてから、第二砲車が渡渉し全隊が鷺梁津に上陸すると京仁街道に砂煙を擧げつゝ十里の坦道を突破して仁川に著いたのは

◇午後六時

であつた、當夜は將校及び准士官は原金に宿り下士以下三十六名は薪居に宿營して二日午前八時出發、正午大井里に到著したのであるが、將卒共は意氣軒昻として傷病兵は一人も無い」暫らくして日足短かい冬の日が沒して富平原頭の淡い茜色が蕭殺たる黄昏の色に變つて行く頃ほひになると幕舍の準備は全く整つて、馬は飽まで

◇秣飼はれ

幕舍長は中隊長より露營中の注意及び勤務上の命令を承けて、各々部署に引取つた、山麓の夜は早く來て野營の陣を包んだ。（富川にて特派員）

御眞影を拜戴して＝平壤にて＝（三日夕刊第二面記事參照）

# 囚人三十名行衞不明となる

横濱倉庫爆發の際附近の地方裁判所は大震動大音響起りて倉庫に面したる一面の硝子窓粉碎され囚人收容の鐵窓鐵扉破壞されし爲め收容中の強窃盜犯賭博犯等の囚人三十名吾れ先きにと逃走し行衞不明となれり猶同裁判所判檢事書記等の負傷者ありたるが登記所雇員一名重傷を負ひたる外何れも輕傷なり（東京特電）

# 峨眉山頂の出火 約十町歩焦土と化す

三日午後三時慶尚南道峨眉山の絶頂なる小松造林より出火し釜山消防隊第二第三の二部直に出動鎭火に努めたる結果同四時鎭火したるが之れが爲め約十町歩は焦土と化し了れり原因は鮮人薪採りの焚火又は煙草の吸殻より發火せるものと推せらる損害高は目下取調中なり（釜山特電）

# 警官を斬つて逃走を企つ

忠南唐津郡高大面長項里賈學俊（三六）は外一名と共謀し大正四年九月五日夜庖丁を携へ同面大村里文光玉方に侵入し現金四錢白米二十尺外七點を強奪したるを手初めに外七箇所にて強窃盜を働き昨年十一月十二日夜唐津警察署の巡査補林鴻圭に取押へられ同署へ護送の途中唐津郡鍋背面彩雲里の山中にて不意に匿し持ちたる小刀にて捕繩を切斷して逃走を企て同巡査補の右眼外十數箇所に斬りつけて人事不省に陷らしめて逃走せしも間も無く逮捕され此程公州地方法院にて懲役十五年の判決を受け之を不服とし京城覆審法院に控訴したり

# 兵營生活比較

◇頓智、度胸しらべの事　◇尻の皮の剝けを羨む事

◇初めの一週間、お客分に扱はれて嬉しかつたのも夢の間に過ぎると、そろ〳〵郷里で父兄や在郷軍人達から、鞭撻されたり脅かされたりした鈍い觀念が眼覺めて來る。◇その上各種の稽古が日一日と六ヶ敷くなつて來る。ガチニの藥屋の樣な「失敗」では間に合はなくなる。廻れ右で十人が十人共云ひ合せた樣に翻らなくつちやすまなくなつた。◇間違うまい〳〵と四六時中ピクピクして居るから時には馬鹿〳〵しい樣な事を間違へてしまう。自分にはもつと確りした度胸が有つた筈だ

と氣を丹田に押し付けて居てもつい狼狽へてしまう。◇時々思ひも寄らぬ奇問愚問が上官から發せられる。

『上田、お前の家には二階が有るか？』『ハイ、あります』『二階の階段は幾つ有るか？』『ハ……エー』

大抵な者はこの手で詰くなつて「ウツ」と支へてしまつて「ア息ばかりアーと出す。◇出鱈目でも何でも答へたものは度胸の有る方に屬する。軍隊では度胸と頓智が最も貴ばれる◇就中騎兵とか砲兵とかの乘馬隊になると自分の體以外に馬と云ふ文盲なものが居るので殊更に面倒だ。◇それに頭目はもうボツ〳〵股擦れがして尻の皮が剝げ始める時分だ。皮が剝けると四五日は乘馬の教練を廢めさせられる。◇板の樣になつた尻を馬の背に乘せて鼻の切れる樣な寒風に吹かれ乍らオ一二オ一二なぞやつて居る時、同僚がチャツプリンの樣な歩き振りで妙な腰付きをして、そいつが又横目でニヤ〳〵笑つて行き過ぎるのを見ると、つく〳〵と尻の皮の剝けた奴が羨しくなる。

# 流失した石炭四萬五千斤

去る二日夜十二時頃釜山沖多々海上に難破船の漂流せるを發見したるより帆船組合より直ちに救護に向ひたるに同船は二人乘りにて石炭四萬五千斤を積載し金海郡大渚面四岩里へ往航中のものなりし由にて船夫を助けたるも同船は遂に沈沒したりと（釜山）

# 海上の火事

去る二日午後九時頃釜山牧の島洲岬白米小賣商林暎春所有の蔚山通ひ小形帆船を同所沖合に繫留し船夫が上陸し居たるに同船船夫部屋より出火し盛んに燃ね上りたるを附近に居合したる消防夫大工等が認め小舟に乘り同船に到り消止めたるも甲板及び帆等を燒失し損害約五十圓也と（釜山）

# 親の金二千三百圓を持ち出す

慶尚南道晉州郡晉州面中安洞今福順長男崔相鶴（一九）は父の金二千三百圓を持出し家出したるより直ちに各地警察署へ保護願を爲し居たるも去る三十一日相鶴は釜山府瀛州洞旅館九明方に投宿し其中千百圓を慶工銀行に預金し他は現金を所持し酒幕に出入し居たるを去る一日釜山署にて探知し同署に連れ來り保護を加へ文福順に其旨發電したるより實母は二日同署に出頭し相鶴を引取り郷里に連れ歸りたるが幸ひに日數を經ざる爲め金は僅かに百圓許を費消し殘金は全部所持し居たりと（釜山）

# 太平町の朝火事

三日午前九時五十分頃太平町二丁目耽相根方の軒下堆積の松葉より發火し茅屋根に燃ね揚りて大事に及ばんとせるも常備消防出動即時消止む隣家の高丼某が喫煙したる燐寸の發火より火したるものなりと

# 本町署寒稽古終了式

京城本町警察署にては滿一箇月間毎朝午前六時より署員の武術寒稽古をなしつゝありしが本月四日之が終了式を擧行し皆勤者に對し宮舘署長より證書を授與せり

# 巡査補を誣告す

平安南道大同郡大隅里金順鎭（二一）は平壤警察署馬山駐在所詰巡査補金泰藤同趙錫初の兩名に惡感を懷き兩巡査補を懲戒の處分に附せしむる目的を以て客年十二月十日及び廿日の兩日平壤署に兩巡査補が恰も非行あるものゝ如き投書をなしたるが平壤署に於て取調べの結果順鎭の所爲と判明し一月三十日誣告罪として平壤地方檢事局送りとなる

# えんげい

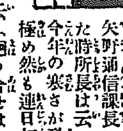
▲壽座　二日花々しき開場と共に好人氣にて開場したる中村新駒一座は頗る好評を博し一座何れも大勉強にて勤め居れるが四日夜の替り狂言は一番目肥後駒下駄大序より仕舞まで切、菅原傳授手習鑑寺子屋の場なり

▲御成座　中村梅升一座四日夜の替り狂言は一番目新富同心筑紫縫、切心中天網島なり

▲黄金館　目下映寫中の寫眞時間は左の如し

▲戰後のアントワーナ（六時十五分より）▲玉子盜人（六時半より）▲ハム君の寫眞師（七時より）▲花吹雪（七時半より）▲寬永御前試合（十時より）▲魔海（八時十分より）

▲大正館　二日より差替への新寫眞は探偵活劇赤髪の女、舊劇盤若深雁三、ア君の飛行、新派悲劇落し胤等



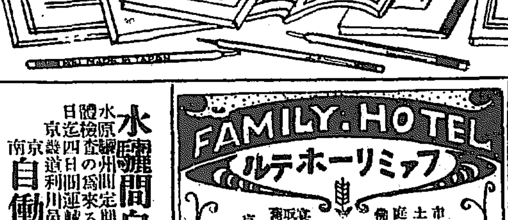
平田觀測所長が此頃矢野通信課長に會つた時所長は云つた▲今年の寒さが酷烈を極め然も連日打續き三寒四温など云ふ廻り合せは一向影も見ねないので▲何か觀測所が態と寒さを續けさすやう仕向けてゐるかの如く、電話や口頭で苦言を受くるので一寸苦しい！と▲で、課長はそれ程君、觀測所が一般より神樣のやうな風の神樣ではなし、寒さを左右する通力のない事は何人も知つてゐるがイ神經が尖つて觀測所にかける電話も自然聲が荒くなるのであらう▲愛媛縣喜多郡五十崎村の西田勘次郎長男喜市（一四）と云ふ少年は同村の森本よしね（一三）と昨年の紅葉の頃からつとなしに人目を忍ぶ仲となつた此の程兩人の親が知つて吃驚したが、木を咲くのに忍びないからと此の中に旬結婚させたさうだ


自今禁酒　瀧川靜江

廣告
陰暦正月休業中の處二月一日より從前の通り營業開始仕候間何卒御引立の程奉願上候
京城觀水洞（水標橋北）中華料理　大觀園　電話六三三番

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇一〇番　京城日報社代理部

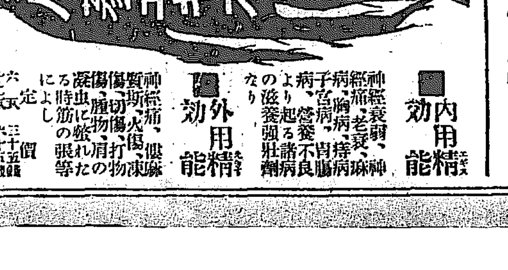
金筆雜記帳
金筆で字がかける至極便利な經濟な帳面が現はれて小學生が大喜び
朝鮮總特約店　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番二七七四番　振替京城二五六番



京日案内
普通　一回前金　五十錢
番外　一回前金　一圓
▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず

◎融通　月收の御方へ極秘迅速期易立替御報伺又は御來談　京城大和町三の三二（柄澤前）起木屋　126
◎古本熱心高價買入　▲御報參上　◎是非御試驗を乞ふ　▲本町四　電話三七八一番　▲書肆群書堂　128
◎乳母至急備入たし但し産後三ケ月以内の者希望の方は御來談あれ　太平町二　電六九八番　更科支店　116
恩給年金長期即時立替　本店京城若草町百六番地　支店京城永樂町一　商品陳列館前　利子等如何樣にも御便利御相談仕候　西村商會　108
恩給年金立替　短期無保險　利子極安即時取引　京城若草町一七二　電話二三三九一番（金光教裏手）國江商會　127
店員入用　十五歲以上十八歲迄　希望者來談あれ　本町一丁目　大阪屋號書店　123
生徒募集　規則書贈呈　普通科　高等科　刺繡科の各科新に入學を許す　黄金町二丁目　シンガーミシン會社　125
ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　89

朝鮮總督府許可

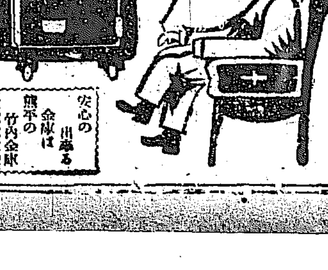


人參直取引大販賣所
朝鮮名産　人參エキス　人參滋養藥　藥餌製造本舖
京城本町二丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番　振替京城三五二〇番
内用精　效能　神經衰弱、神經痛、老衰、痳病、胃腸病、子宮病、痔病、營養不良、より起る諸病の滋養强壯劑なり
外用精　效能　神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物、腫物、肩のこり、凝血、蟲に螫れたる時、筋の張れ等によし
定價
支店　龍山支店　大邱支店　釜山支店
本舖に御注文次第迅速御發送可仕候

水原驪州間自動車運轉中止
水原驪州間定期運轉自動車は車體檢査の爲來る二月三日より六日迄四日間運轉を中止致候
京南鐵道利川邑内　京南自動車運輸商會

FAMILY HOTEL　ファミリーホテル
市内四通八達の場所　土地高燥眺望絶佳　庭園廣く閑靜の地　佛蘭西料理調進
客室　食堂　完備
宴會は特に御便利に取計可申候
ミセス、ボーエル改稱ソンタクホテル
京城南大門通二　電話一二二八番

ペントン式金庫



安心の出來る金庫は熊平の竹内金庫
京城本町二丁目　熊平支店　電話六二四番　振替京城三三番

# 怒濤の月

六十九　小林蹴月作　武内桂舟畫

## 操の一念「十四」の一

勿論、警察の留置所なぞゝは、構造も違へば、感じも全く異ふが、何のためにこんな陰氣な氣味のわるい暗黑な別室が、壁の後ろにしつらはれて在るのか。絹代には、毛頭意味が分らなかつた。それでも、白壁である丈に、視力の段々馴れて來るに連れて、おぼろ月夜のやうな薄い明りが、何處の隙間からともなく、膝の邊まで射し込んで居るのに氣付いた。臍を据ゑて、よく〳〵視て見ると、小さいながらも、隅つこの方には「瓦斯暖爐」の設備もあるやうだし、疊なども案外瀟洒として、附床の上には、亜體の知れぬ鑄物の裸美人らしい置物が、ちんと淋しさうに立つて居る。

絹代は、自分で自分ながら、自分の運命が何處まで深い悲哀の淵に沈み、又何處まで險しい鋭い苦難の岨路を辿らせられるのか、此の暗室の暗さよりも、更に一層暗い悲しい淋しい辛い冷たい哀れなるものは、自分の身であると思つた。顔も見知らぬ内に、母親と死別れ、繼母の邪慳に小突き廻されて、辛くも十八の時代を迎へた今年までは、それでも是でも實の父親と云ふものもあつたし、幸三郎と云ふ末遂ぐるべき許婚の良人もあつたのであるから、任意ならぬ生活の中からも、幾分將來の心恃みがあつたに相違ないが、今日の此の境遇は、一體自分の身に什うなれと云ふ事なんであらう？寧そ死ねと云ふ神さまのお告げではあるまいか知ら？死んで現世の苦痛を忘れさせやう爲めに、神さまがお慈悲に此の身を此の暗室へ投げ込んで下すつたのではあるまいか知ら？左らねだに病後の疲れ果てた此の身體で、假に此の家を逃げ出して見た所で、倚るべき親もなければ、良人と思ひ定めた人はあつても、その行先さへ定かならぬ今日、何處を目的に落著くべき宿も小屋もない身の果敢なさ。秋の梢に鳴き瘦るゝ小蟬の、一日や三日露の命を生き延びたに爲てもが、詰りは矢張死の運命とやらに手を導かるゝより外はないのだ。

『あゝ、死なう!?妾は什うしても、死ぬより外に、此の苦痛から助かる術はないのだ。』

慾ひに生きて居て、幸三郎以外の男に操を汚さるゝやうな事があつては、女として死に優つた辱しめである。

『……今にも松崎さんが引返して來たらば、又何のやうな手荒な事を爲ないとも限らない……あんな拳銃なんかを振廻して……。』

斯う思ひ詰めた時、絹代は、今更のやうに、松崎の持つて居た拳銃が欲しくなつたのである。左もなければ、自分が自殺すべき道具が、其處等邊りに見出す事が出來ぬからであつた。然し、絹代の心では、同じ死んで了ふにしても、自分の貞操の白であつた事丈は、何とかして、幸三郎に知らせる方法を取つてからの事に爲たいと思つた。――どんな事があつても必ず短氣を出さぬやうに言つた言葉は、無論忘れは爲ないが、今となつては、什うしても……什う思ひ直して見ても、死ぬより途はないと思つた。

『ねツ、阿兄さん、倉橋の阿兄さん……ねツ、幸三郎さん！妾が自殺した後でも、妾の潔白な心丈は、信じて下さいね。妾は、天に誓ひ地に誓つて、彼の花泉の御前樣や、松崎さんの心になんか從ひは爲ませんから、ね。妾は、此の儘死んで了つても、妾の心は、貴君の……慕はしい阿兄さんの影となり身となつて、何時までも何時までも乾度保護まさねばなりません。ねツ、阿兄さん、郎君は假令妾を嫌つてお在になつても、妾は、決して決して、然うは思ひませんわ。妾は、郎君が一日も早く、世間に名高い大家にお成りになつて、藝術とやらの爲めに、お盡くしになるのを、草葉の蔭から祈つて居りますからね。』

四邊に何者も聞いて居る氣色がないからでもあらうが、絹代は、獨りで繰返して、獨りで泣きながら、死出の旅路の仕度をと考へたのである。が、娘心の未練は飽までも、幸三郎の上に殘つて居るのであつた。

窓なき部屋の、外面と云つたら、他の家の屋根さへも見る事が能ぬ暗室の底ではあるが、何處か間近の日比谷の原邊りで、飛行機の空を翔けるやうな音が、幽かに……幽かに聞ねて、折々小童達の手を叩きながら萬歳を叫ぶやうな聲も、途絶れがちに響いた。絹代は、死を決心して居ながらも、まだ手近な世間の物音が妙に懷しくてならぬのであつた。


皮膚科

皮膚病　徽毒　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍

入院隨意（診察夜九時迄）

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元味町）　佐藤醫院　（電話一一七三番）


## □最近發明の玩具と櫛

最近に發明された婦人用品の中、極斬新なものを紹介しますと、髮飾の中ではガラリット式の束髮用櫛とユニオン式の簪であります

◇ガラリット式の櫛の原料はクリームを取つた後の廢物の牛乳から水を排除して、之に一種の酸類を加へ適當の形に壓し乾燥して製造したもので、色は鮮かな紅、黄若しくは地圖色等凡て化學を應用しセルロイド以上に耐久性を有するものであります。ユニオン式の簪は其の技に取り附けてある目立たぬ突起を右に押せば、金と銀のクローバの花が二輪に開き、左に押せば銀臺へ金色のクローバの花が八重咲きの一輪になると云ふ目先の變つた趣向であります裁縫箱では婦人持の手提袋に縫つた趣味のものが見られます

◇一け舟底形の　瀟洒な竹編製籠を底とし、廻りを細いレース編みの鎖形として口をくゝり内部に薔薇か櫻の花模樣を書いた薄絹を取つけたもので如何にも上品によろしく一は實用向の紙巾袋で大きな底を二つに折つて内部に取りつけたフォックスをかけると其袋の三分の一丈けに小さくなると云ふのがありますもので便利なものであります夫れから垢擦の代用に沐浴ブラッシと云ふのがありますが、之は馬の毛を精製したもので身體を摩擦する際、其刺戟を避け、且つ

◇皮膚を滑かに　する特色があるさうです。玩具の部類では從來の發明品に比較すると、餘程の進歩が見られ一般に活動的の物計りであります（…）鬼と人（是れはネヂを廻すと木の洞から鬼が出る、それを傍の人形が槌で打つと鬼が再び引き込む仕組み）飛ぶ蛙、水上自動車（車輪には悉くネヂを廻せば水上を美事に滑走する）

◇お辭儀する熊　（シルクハツトを横に冠つてステッキを持つた白熊の背中に仕掛けたゼンマイを廻すと熊は帽子を取つて丁寧にお辭儀をする）音樂の人形（背中に取つけたネヂを廻すと同時に、人形は手にした弓を取つてヴアイオリンを彈き人形の體内に仕込んだ音樂が自然に鳴り出す）等は何れも苦心の跡がまざ〳〵と見る斬新のものであります

## 新刊紹介

▲婦女界（二月號）西洋風の結婚には斯かる缺點あり『嫁山花子』『私の失敗談』と手納話『柳橋雛子』勞働は幸福の母『長く幸福を求むるの道』『都河龍』『下宮桜は果して不治の病氣か』『下平博士』『肺炎の徴候と其の手當』『吉田久造』を始め例によつて育兒料理裁縫染色園藝に關する記事を滿載せり尚ほ我が家の體驗物語は立志談成功談珍說奇話を集め柳川春葉の家庭小說『世間』小山内薫の椿小說『心の華』は事件愈々發展せり（東京市牛込區加賀町共社）

▲婦人世界（二月號）婦人の爲め最も必要なる記事を滿載し相談相手たらん事を期せるもの本號中重なるものは『物價騰貴に際して中流家庭の執るべき途』『日本婦人な包圍する肺病の豫防法』『逆境に立つて天命を知る婦人』『内職獎勵法』等孰れも婦人に必要の讀物にして村井弦齋氏の新作家庭小說『小松島』は漸く波瀾を生じて面白く特に本號の『案兒の卷』は世の子を持つ親の涙を絞らずにはおかざるべし（東京市京橋區南紺屋町一二實業之日本社）

▲帝國青年（二月號）　青年と此の時機『伊達主幹』『露國皇帝稀陣日記』『少年兒』等論說賞選狀の發表及立志訓實業教育等に關するものを收む（十二錢東京市麴町區内幸町一ノ四共發行所）

▲保險新聞（七ノ二）　九段東京市神田區北神保町八共社

▲養鷄指針（新年號）　論說、實驗、參考、園藝其他各欄悉く養鷄上の好文字を以て滿せり農家並に斯業に關係ある人に薦む（特價二十錢大阪市南區上本町四二重枝發行所）


廣告

恩給年金

輕便低利金融す

釜山本町五丁目四三　竹水合出張所

科學的純良なる

歯磨（ハミガキ）

今や紳士淑女の家庭に盛んに愛用せらる

男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と内服藥を併用する時は一回每に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如し入院不要ハガキで申込あれば說明書無代で送る

東京神田（電話神田七二三番）　東京眞空療法研究所

京城電氣株式會社製品　朝鮮瓦斯電氣株式會社製品

コールタール一手販賣（品質優良）　石材販賣

眞鍮其他鑄造製作

久保田鐵工所代理　神奈川電氣株式會社代理

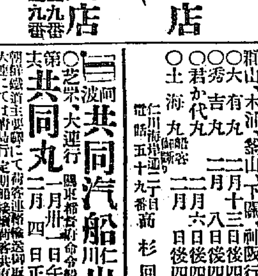
龍山漢江通八番地　巴商行　樋口米太郎（電話四二四番）

同　工場

京城黄金町三丁目三四〇番（電話一四二五番）　同　支店

内科　小兒科　入院隨意

京城日出小學校前　多々見醫院　電話九四〇番



醸造元　福岡縣三井郡山川村　富安本店

發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話四一〇三九番　振替口座四三

内科　胃腸病　診察夜九時迄

京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七　九二〇九番

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亜爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の洗渣をも殘留せず、更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亜爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗慥なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず

ミツワ石鹼は

化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

卽ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

現品實寫圖

| 種類 | | |
| --- | --- | --- |
| 大形 | 家庭用 | 定價金貳拾錢 |
| 中形 | 携帶用 | 定價金拾參錢 |
| 小形 | 旅行用 | 定價金拾錢 |
| 極小形 | 旅館用 | 定價金五錢 |

肝油ドロップス　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番　電話浪花長特四四四八番　四四九番　四五〇番

大邱浦項間自動車時間

上り　浦項發　安康　慶州　阿火　永川　河陽　大邱著

下り　大邱發　河陽　永川　阿火　慶州　安康　浦項著

浦項七番　大塚農場自動車所　電話二一番　大邱出張部

金泉醴泉間自動車發著時間

上り　金泉發　龍宮　咸昌　醴泉　尚州

下り　尚州　醴泉　咸昌　龍宮　金泉著

▲小荷物運搬仕り候　金泉電話四八番　金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆

○大連行、秦皇島行　三河丸　二月十日正午出帆　相模丸　二月十九日正午出帆　高砂丸　二月　日正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀　回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行　大有丸　二月十三日後四時出帆　秀吉丸　二月八日後四時出帆　君が代丸　二月六日後四時出帆　○土海丸（傭船）　二月　日後四時出帆

仁川海岸通三丁目　電話五十九番　杉　回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　第一共同丸　一月卅一日午後入港　二月四日正午出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱仕候　大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同運賃にて通し輸送取扱仕候

阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）　仁川代理店　野口商會　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　立神丸　月日後五時出帆　小倉丸　月日後五時出帆

元山、清津、浦鹽行　立神丸　月日後十時出帆　小倉丸　月日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　月日後六時出帆

門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　月日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆

本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

群山、神戸、大阪行　濟州丸　月日後五時出帆

群山、木浦、釜山、關門、神阪行　天智丸　月日正午出帆　大智丸　二月十一日後五時出帆　油頭丸　二月十五日後五時出帆

◎神戸大阪行　安東丸　二月日後五時出帆

木浦、釜山、原、細の江、長崎行　信濃川丸　二月四日正午出帆　信濃川丸　二月二十日正午出帆

群山、釜山、木浦行　南丸　二月日後二時出帆　東丸　二月日後二時出帆

大連行　信濃川丸　二月十六日正午出帆　安東丸　三月五日正午出帆

大連直行　南丸　二月日正午出帆　東丸　二月八日正午出帆

清津、浦潮行（元山出帆）城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港　平丸　二月廿三日後十二時出帆　宮島丸　二月九日後十二時出帆

大信丸　二月四日正午十二時出帆　大阪丸　二月八日

上海、芝罘、打狗行（大連出帆）　北丸　二月八日前六時出帆　臨丸　二月廿四日後四時出帆

注意　切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇番五五〇番　内國通運會社支店

京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番

朝鮮郵船出帆

○全羅丸　○京畿丸　○黄海丸　○咸鏡丸　二月四日　十一日　十八日　廿九日　釜山發

○穩城丸　○吉平丸　○鏡城丸　二月四日　六日　八日　元山發

○昌平丸　二月　日　元山發

○益德丸　二月五日　釜山發

○江陵丸　○張陵丸　停　日　浦項發　釜山發

○三浦丸　二月　日　釜山發

○統營丸　○海州丸　○濟州丸　○慶運丸　毎日　釜山發

○平康丸　二月　日　元山發

○順天丸　○大宇丸　三日目毎ニ　木浦發

○慶興丸　二月七日　木浦發

○麗興丸　二月六日　木浦發

○公州丸　二月　日　木浦發

○江原丸　二月八日　仁川發

○麗水丸　二月十一日　十七日　仁川發

○晋州丸　月　日　仁川發

○全州丸　○錦江丸　毎日午前　仁川發

本社　電話　一九五二番二二三一番

京城南大門驛前　京城荷客取次店　松原運送店（電話一七〇七番）